2025年度

大学教育の達成度調査報告書

2026年9月

教育運営委員会 学部・大学院教育部会

大学教育の達成度調査ＷＧ

目次

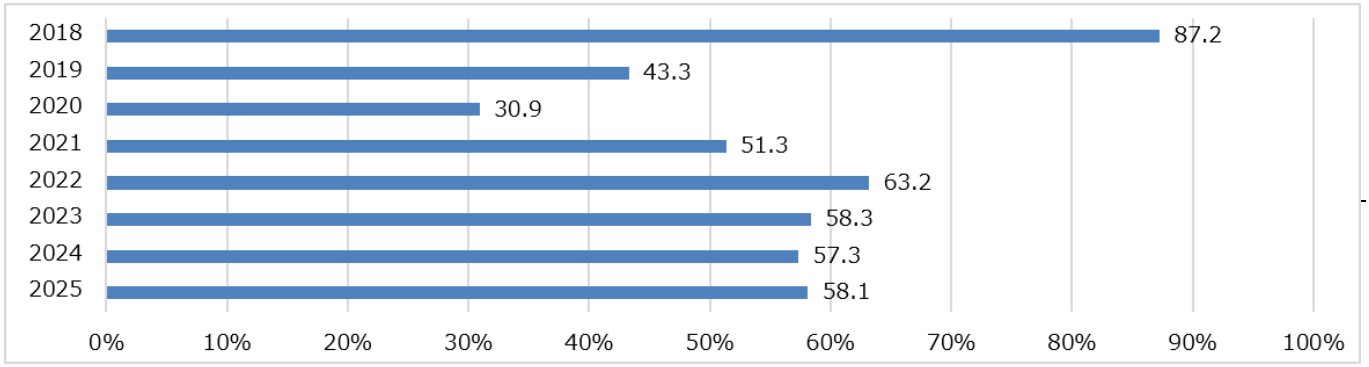
調査実施方法・・・

調査実施方法

○調査形式　　：Web
○アンケート回答期間　　：2026 年 2 月 2 日(月)～3 月 31 日(火)
○2026 年 3 月卒業者数　　：3,028 名
○回答者数　　：1,760 名
○回答率　　：58.1% (回答者数/3 月卒業者数)

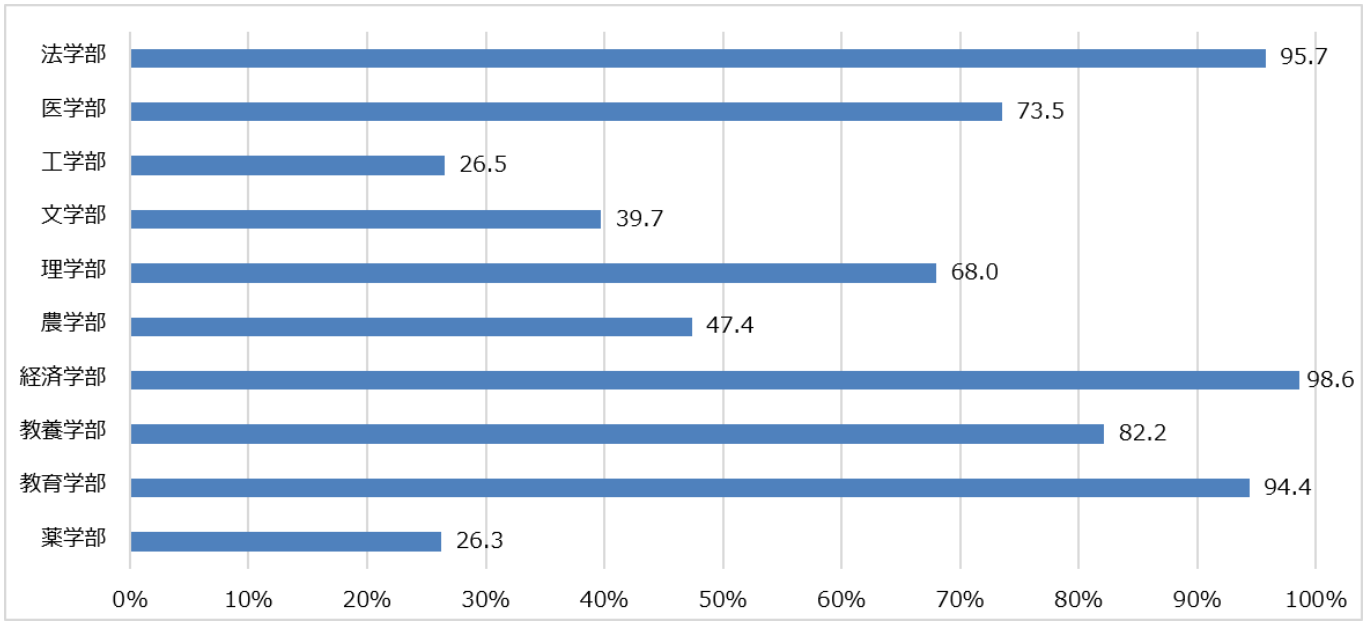
※グラフの個々の数字は、小数点以下を四捨五入しているため、数字を合計して 100%とならない場合がある。

過去 8 年間の回答率



＜回答率変動の背景＞
2019 年度の調査以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、調査票の回収方法や調査形式の変更を行った。2018 年度までは、学部（各学科）において卒業式当日の書類配付時等に調査票を配付し回収していたが、2019 年度は前出の感染症対策のため、調査票の回収方法として直接回収のほか、返信用封筒を用いる回収も選択できるようにした。2020 年度は調査形式を Web と紙媒体の併用（Web を推奨）とし、2021 年度以降は Web のみとしている。

学部別回答率

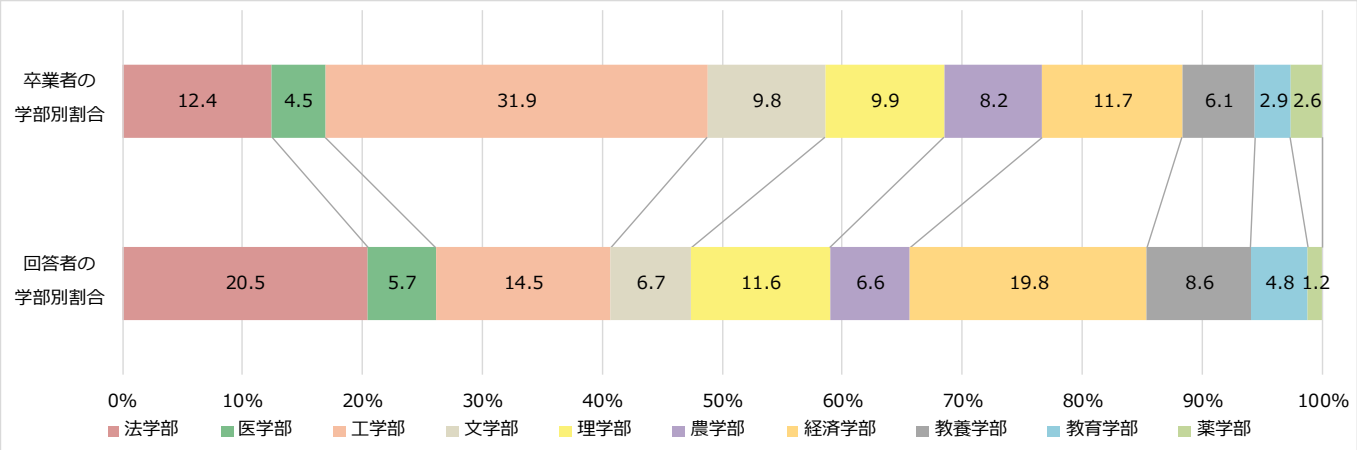


Ⅰ．回答者の特性

2023年度調査より、データクリーニング（明らかに不適切な回答をしていると思われる回答データの削除）を行っている。2025年度はデータクリーニングの結果、全回答者1,760名のうち97.3%にあたる1,712名の回答を有効回答であると判断した。

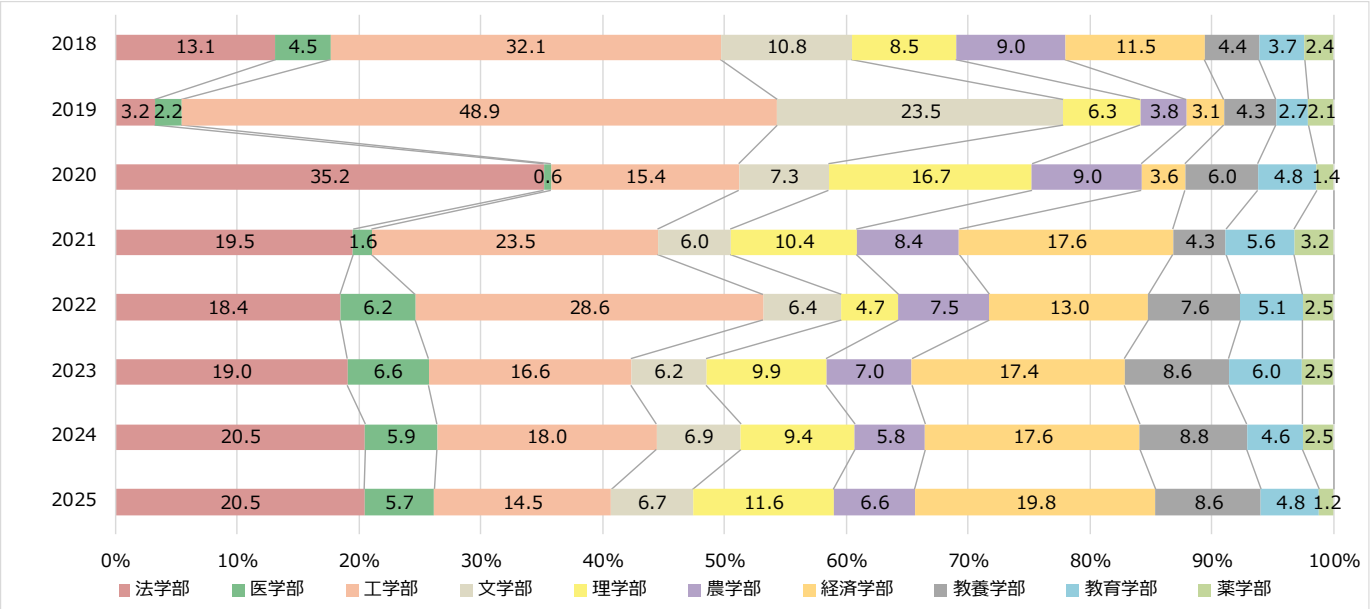
以降はこの有効回答データをもとに結果を報告する。またこれよりあと、本報告書で使用する「回答者」は、データクリーニング後の有効回答者を指すものとする。

後期課程 所属学部

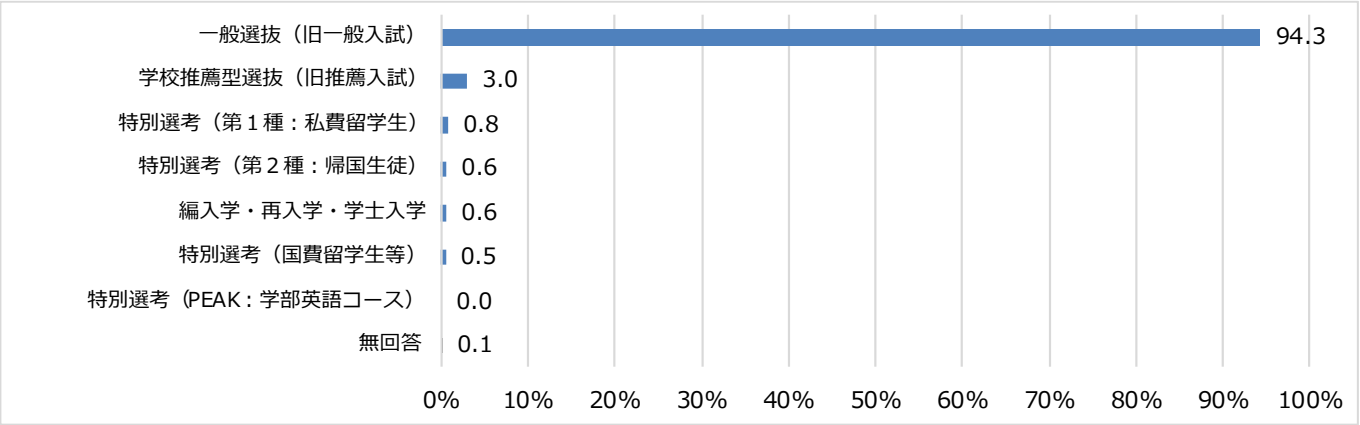


卒業者の学部別割合は、3月の各学部卒業者数/全卒業者数で計算した。
回答者の学部別割合は、各学部の有効回答数/全有効回答数で計算した。
卒業者の学部別割合と回答者の学部別割合に差がある学部もあるため、全体の傾向をみる際は留意が必要である。

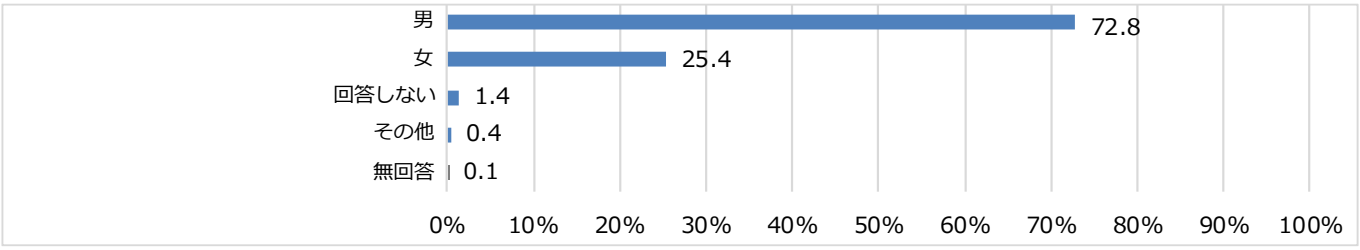
過去8年間の回答者の学部別割合



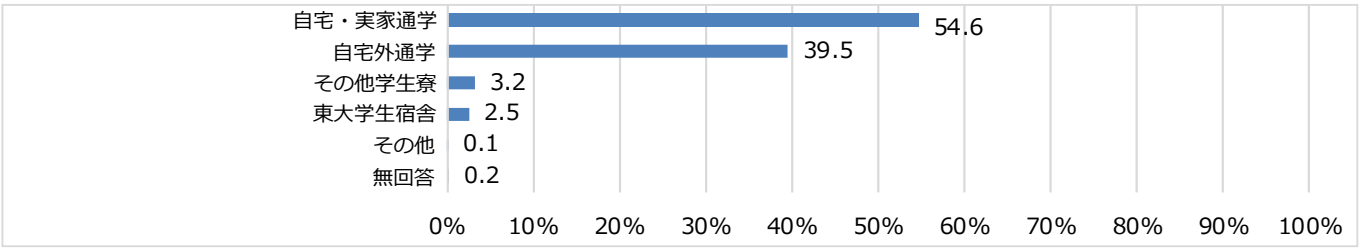
Ⅰ-2. 入学試験



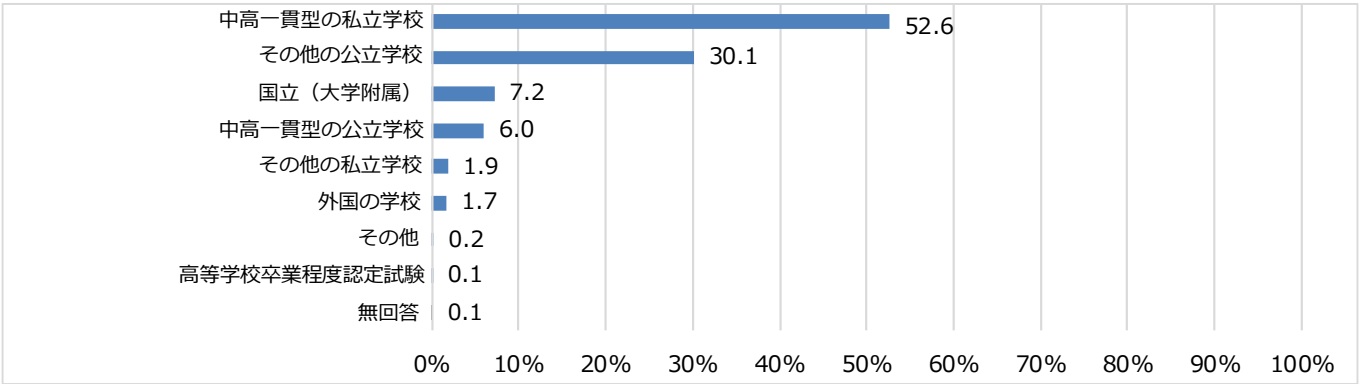
Ⅰ-8. 性別



Ⅰ-9. 通学・住居



Ⅰ-10. 出身高校等

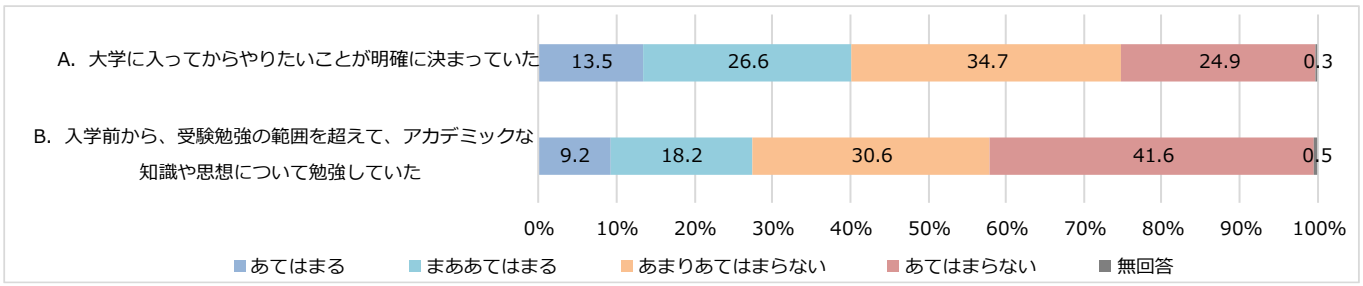


Ⅱ．在学時の経験

Ⅱ-1．入学時の様子

「あてはまる」「まああてはまる」の合計
・「大学に入ってからやりたいことが明確に決まっていた」：40.1%
・「入学前から、受験勉強の範囲を超えて、アカデミックな知識や思想について勉強していた」：27.3%

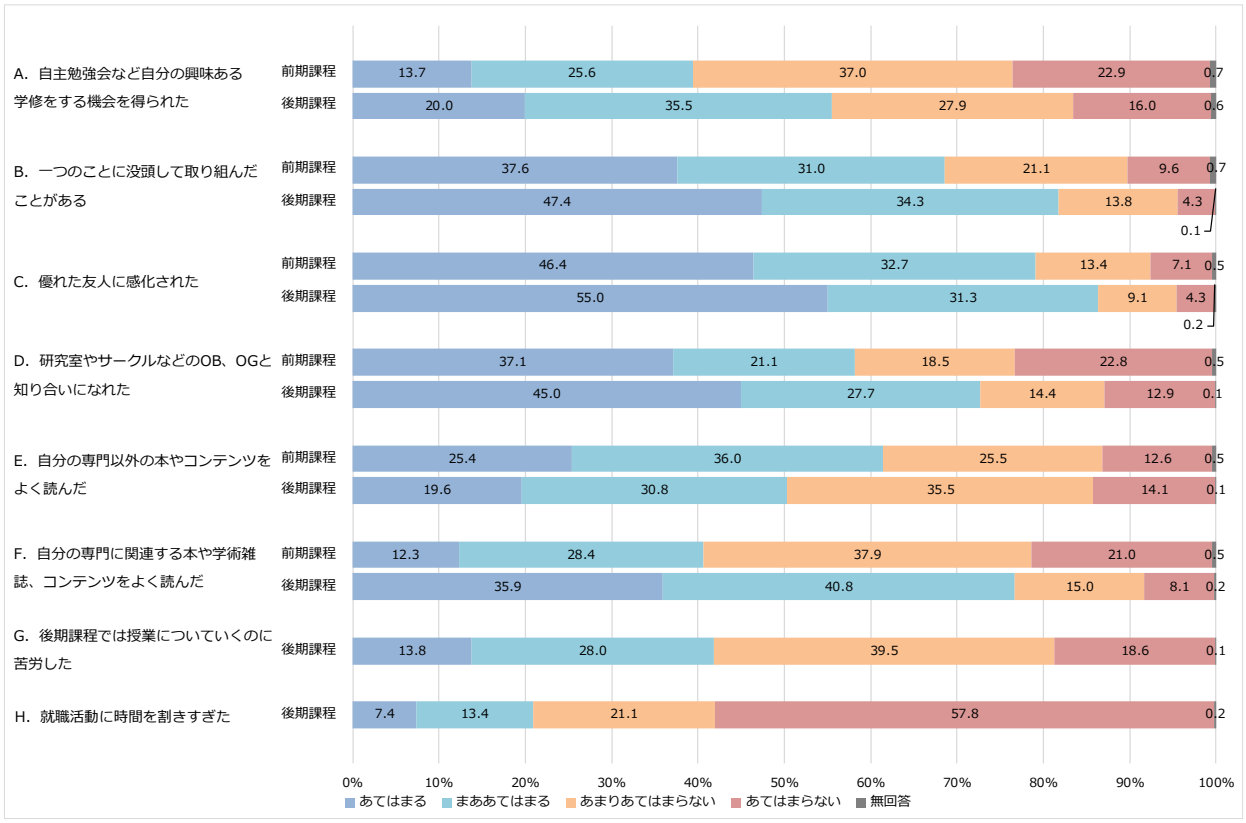
Ⅱ-1．入学時の様子について伺います。つぎのことは、どの程度あてはまりますか。



Ⅱ-2. 大学時代を通じての経験

「あてはまる」「まああてはまる」の合計
- **「自分の専門以外の本やコンテンツをよく読んだ」以外は全て前期課程より後期課程の方が高い割合**
- **「自分の専門に関連する本や学術雑誌、コンテンツをよく読んだ」は後期課程の方が 36.0%高い**
- **前期課程・後期課程ともに「優れた友人に感化された」が最も高い**

Ⅱ-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。



Ⅱ-3. 大学が提供する各種プログラム等

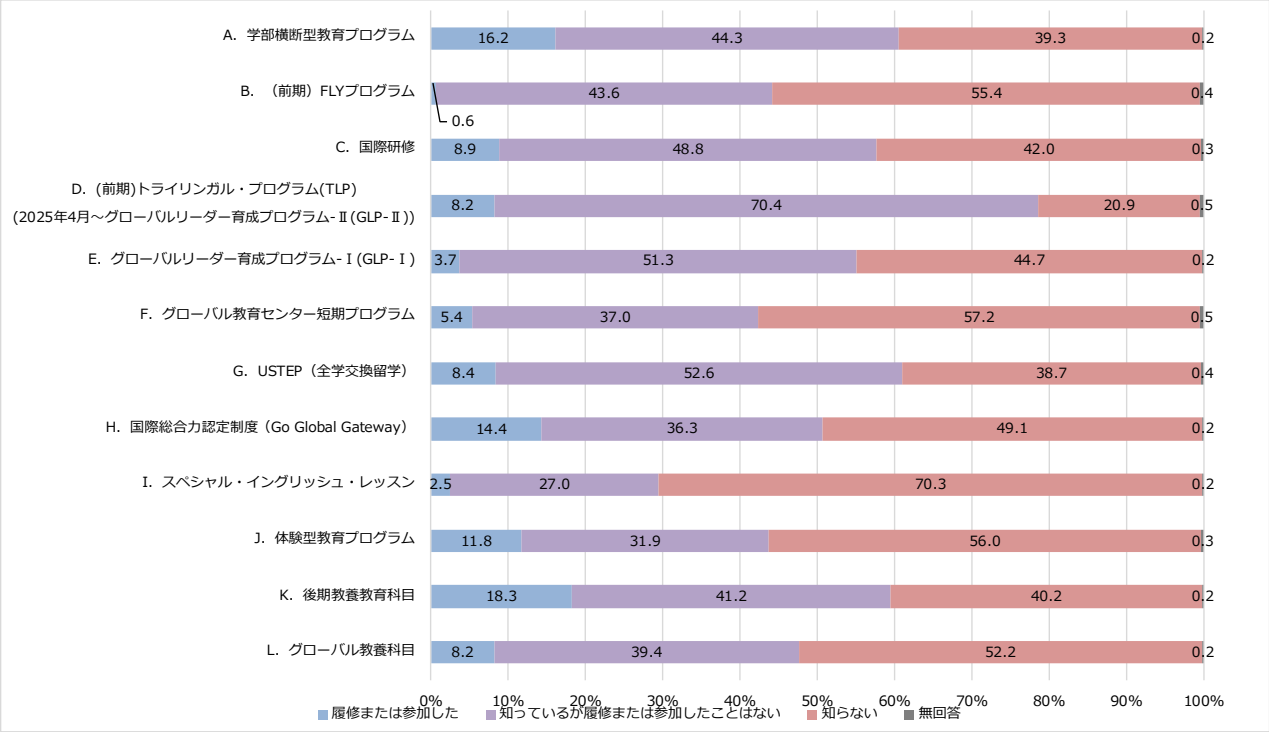
「履修または参加した」
- **12のうち4つのプログラムは10%を上回った**
- **「後期教養教育科目」が18.3%と最も高い**

「知らない」
- **12のうち5つのプログラムは50%を上回った**

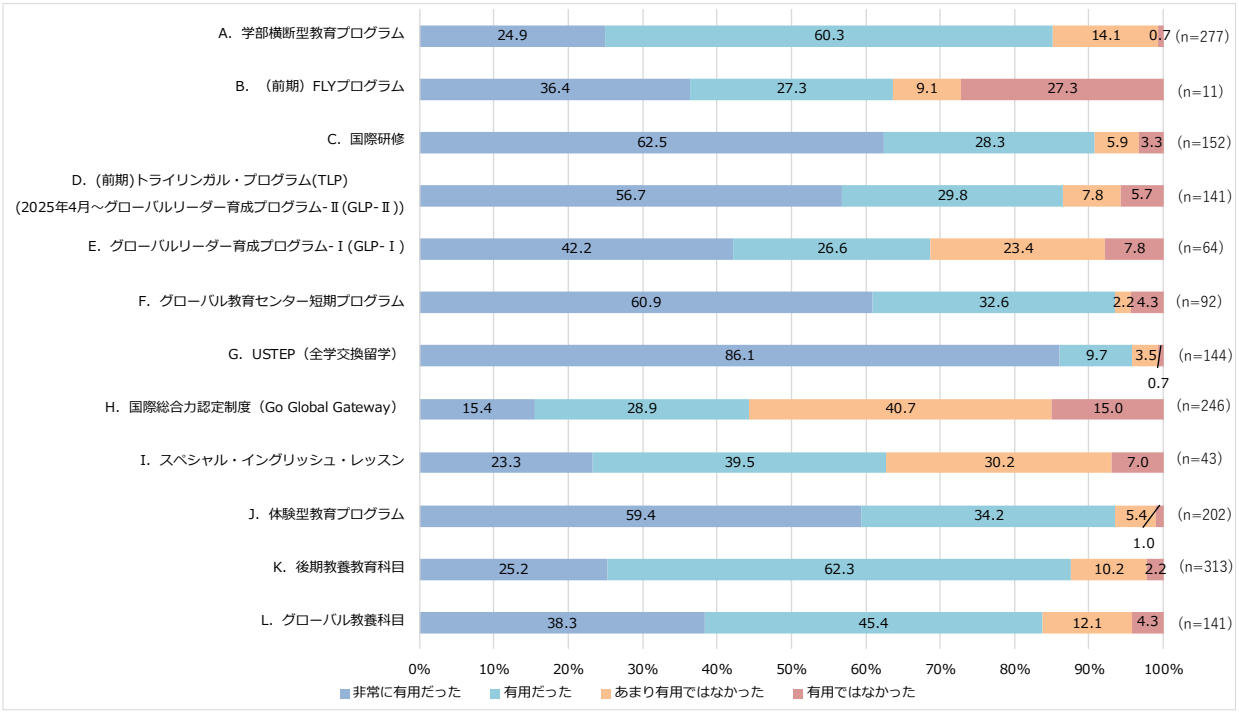
「非常に有用だった」「有用だった」の合計
- **12のうち8つのプログラムは80%を上回った**

Ⅱ-3. 大学が提供するプログラム等の履修または参加について伺います。

●履修または参加の有無



●各プログラム等参加者の評価



n は「履修または参加した」と回答した学生の合計数

Ⅱ-4. 在学時の学修機会・経験

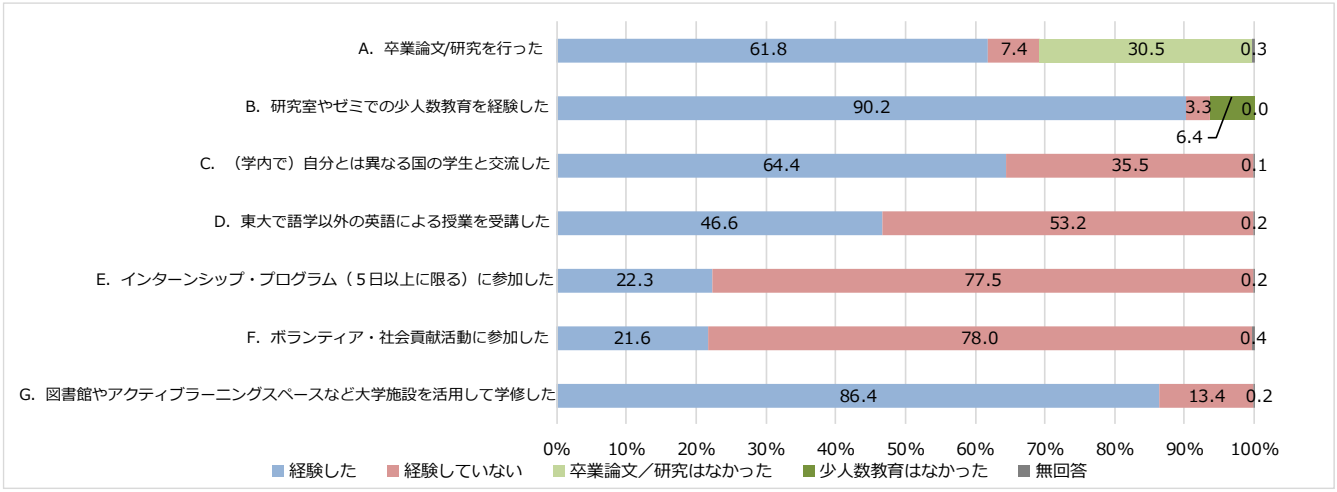
他の項目に比べ、経験者が多い
- **「研究室やゼミでの少人数教育を経験した」：90.2%**
- **「図書館やアクティブラーニングスペースなど大学施設を活用して学修した」：86.4%**

他の項目に比べ、経験者が少ない
- **「ボランティア・社会貢献活動に参加した」：21.6%**
- **「インターンシップ・プログラム（５日以上に限る）に参加した」：22.3%**

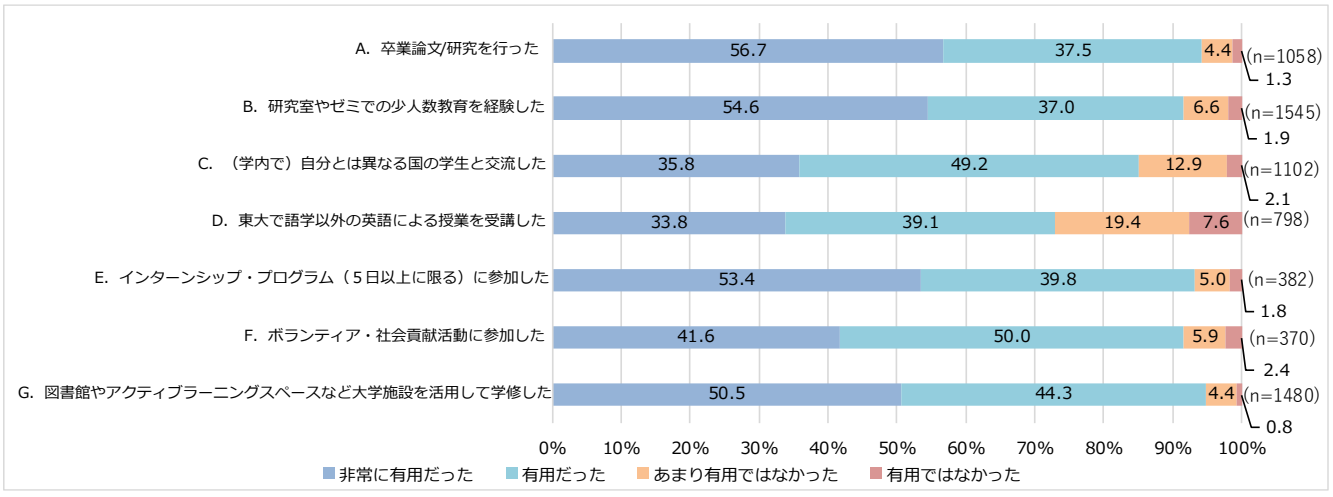
「非常に有用だった」「有用だった」の合計
- **すべての項目が 70%以上**
- **「東大で語学以外の英語による授業を受講した」は 72.9%と他項目より低め**

Ⅱ-4. 在学時の学修機会・経験について伺います。

●機会・経験の有無



●各項目経験者の評価



n は「経験した」と回答した学生の合計数

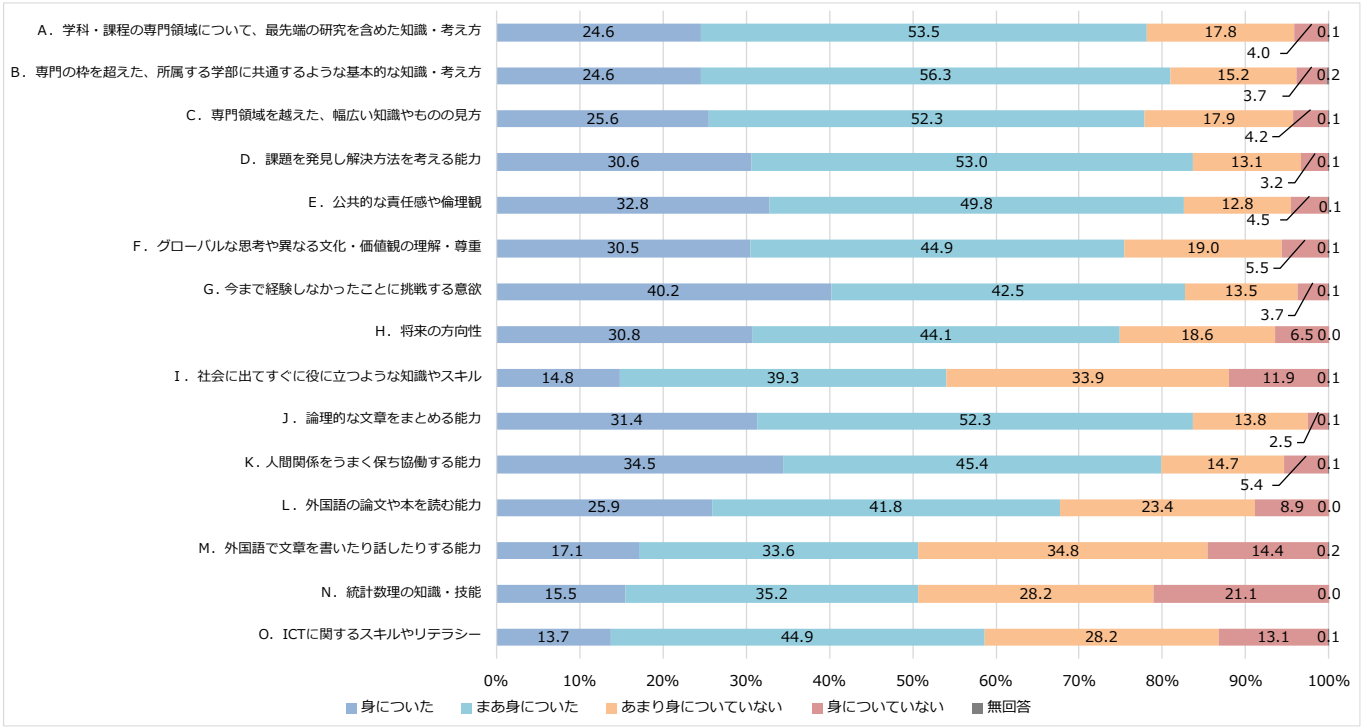
Ⅲ．在学時の学修

Ⅲ-1．身につけた点

他の項目に比べ、「身についた」「まあ身についた」の合計が高い
- **「論理的な文章をまとめる能力」：83.6%**
- **「課題を発見し解決方法を考える能力」：83.6%**
- **「今まで経験しなかったことに挑戦する意欲」：82.7%**

他の項目に比べ、「身についた」「まあ身についた」の合計が低い
- **「統計数理の知識･技能」：50.7%**
- **「外国語で文章を書いたり話したりする能力」：50.7%**
- **「社会に出てすぐに役に立つような知識やスキル」：54.1%**

Ⅲ-1．あなたは、つぎのような点を身につけたと思いますか。

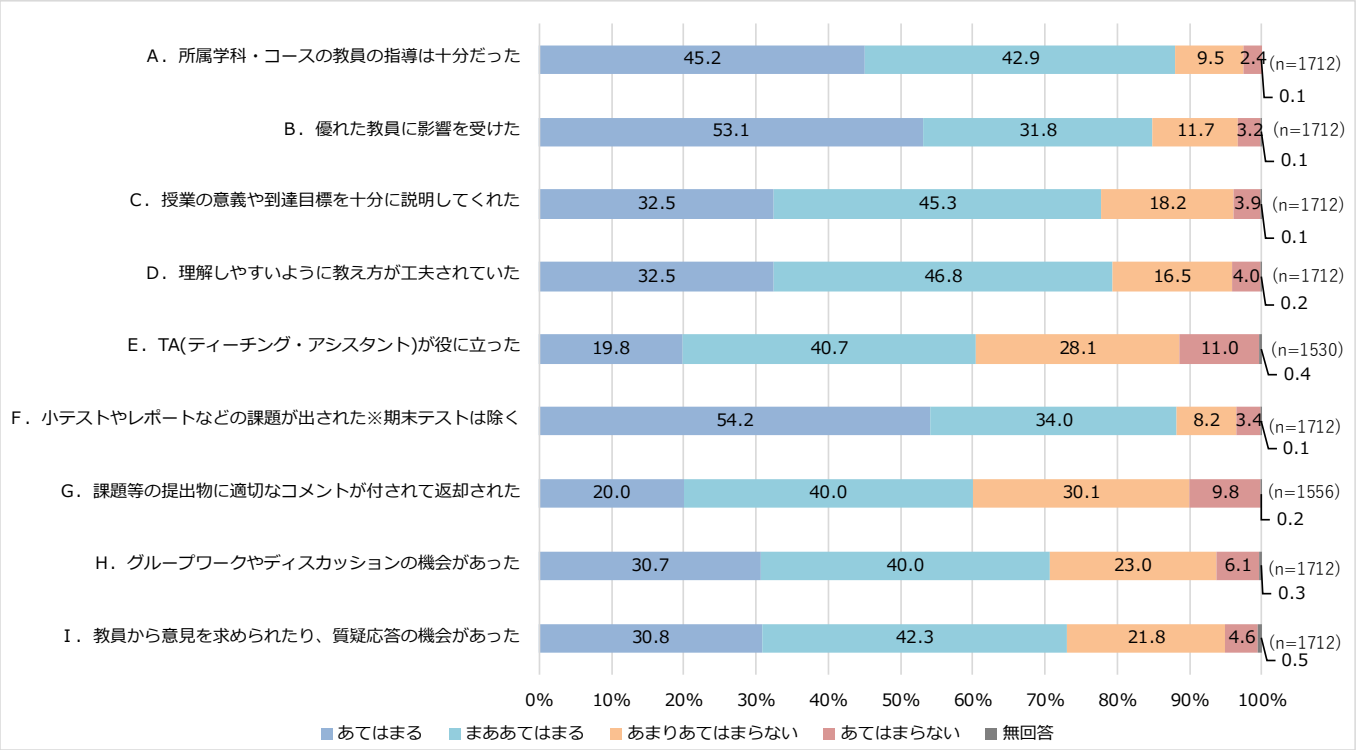


Ⅲ-2. 教員や教育制度、受講した授業

他の項目に比べ、「あてはまる」「まああてはまる」の合計が高い
・「小テストやレポートなどの課題が出された※期末テストは除く」：88.2%
・「所属学科･コースの教員の指導は十分だった」：88.1%

他の項目に比べ、「あてはまる」「まああてはまる」の合計が低い
・「課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された」：60.0%
・「TA(ティーチング･アシスタント)が役に立った」：60.5%

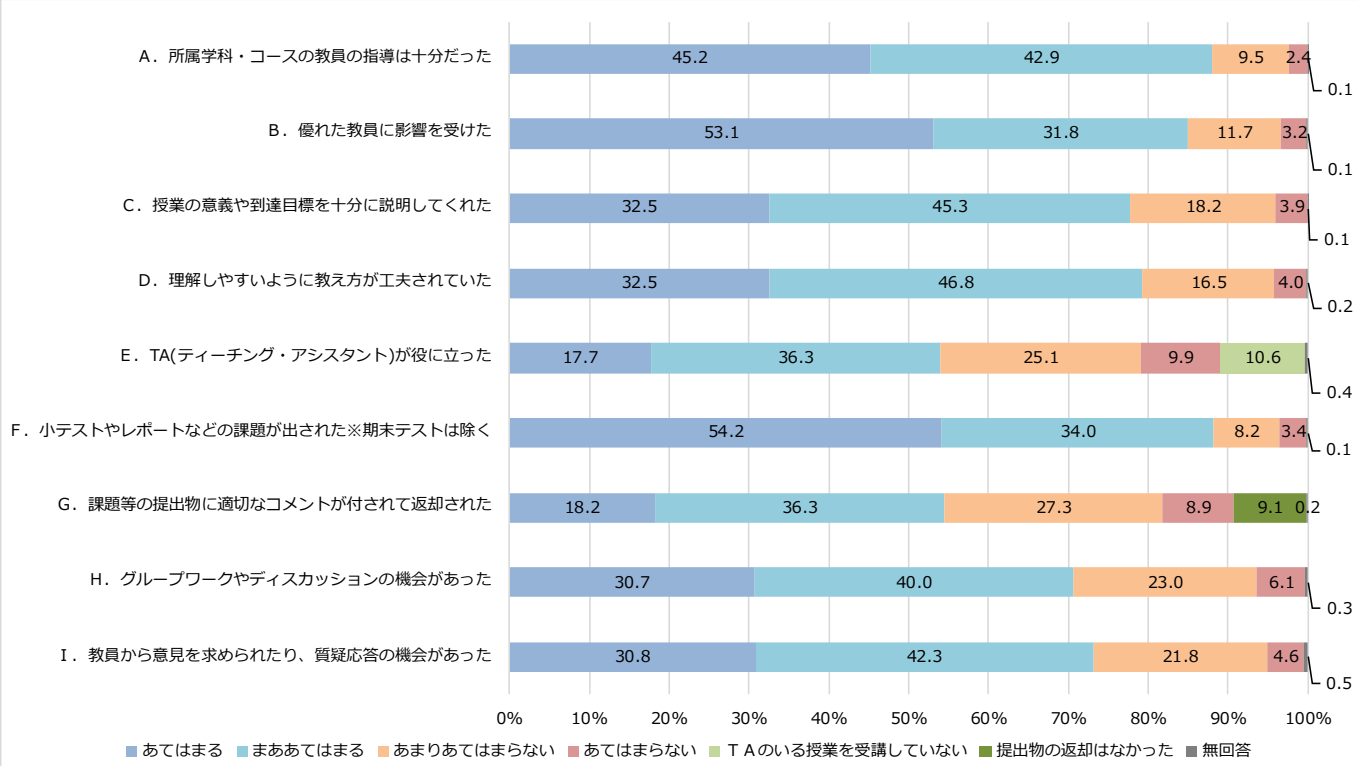
Ⅲ-2. 教員との関係や受講した授業について伺います。



n は「未経験」と回答した学生を除いた回答者数

（参考）

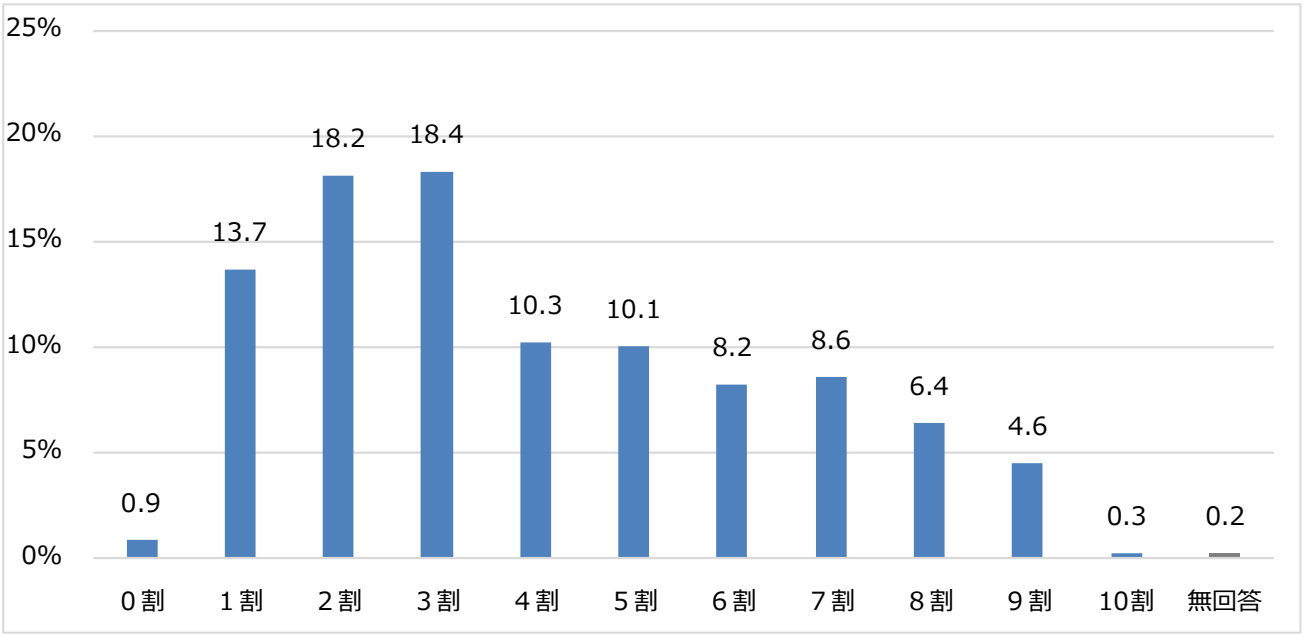
「E.TA(ティーチング・アシスタント)が役に立った」「G. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された」において、未経験（それぞれ「TA のいる授業を受講していない」「提出物の返却はなかった」）と回答した学生を除く前のグラフ



Ⅲ-3. 成績

「優(優上を含む)の割合」は 3 割が最も多く、次いで 2 割、1 割

Ⅲ-3. あなたの成績について伺います。「優上」（A+）および「優」（A）は何割くらいありましたか。あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

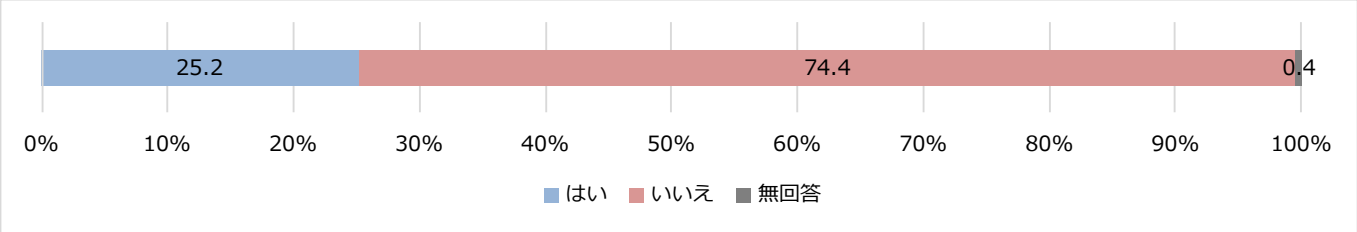


Ⅲ-4･5. オンライン授業

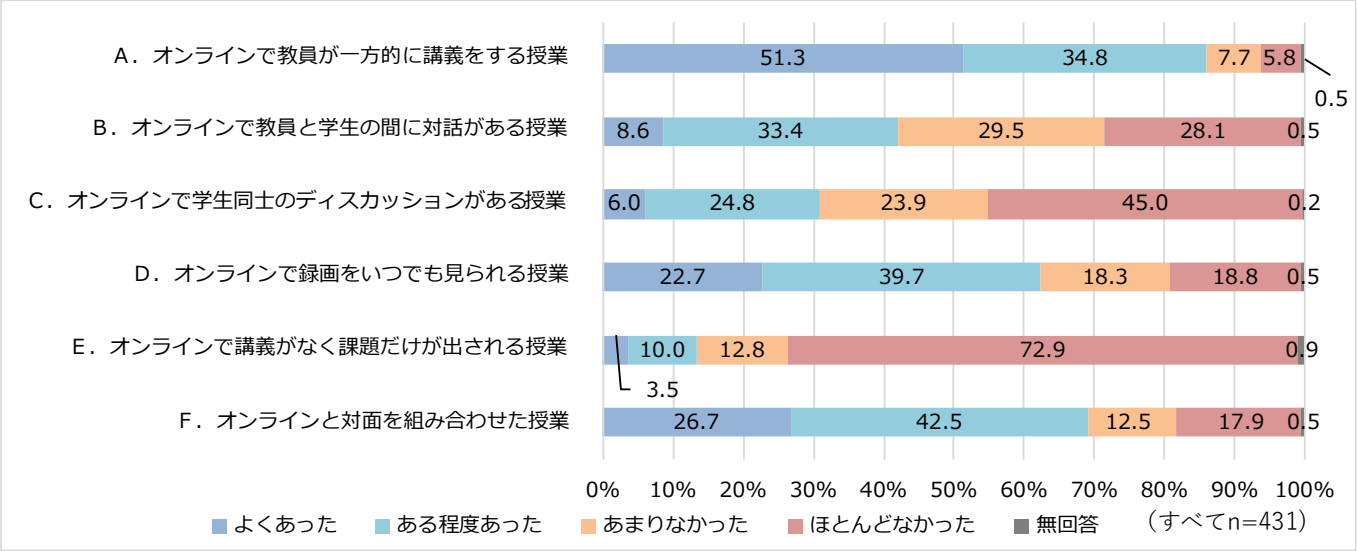
2025年度は25.2%がオンライン授業を受講した

他の項目に比べ、「よくあった」「ある程度あった」の割合が高い
・「オンラインで教員が一方的に講義をする授業」：86.1%
他の項目に比べ、「よくあった」「ある程度あった」の割合が低い
・「オンラインで講義がなく課題だけが出される授業」：13.5%

Ⅲ-4. あなたが今年度履修した科目にオンライン授業はありましたか。



Ⅲ-5. あなたが今年度履修したオンライン授業の中で、つぎのような授業はおおよそどれくらいありましたか。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

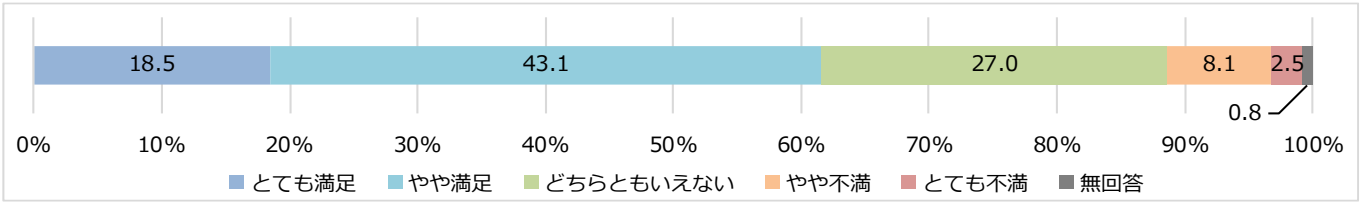


nはⅢ-4に「はい」と回答した人数

Ⅲ-6. オンライン授業への取り組み

「満足」が 61.6%（「とても満足」+「やや満足」）
「どちらともいえない」が 27.0%
「不満」が 10.6%（「やや不満」+「とても不満」）

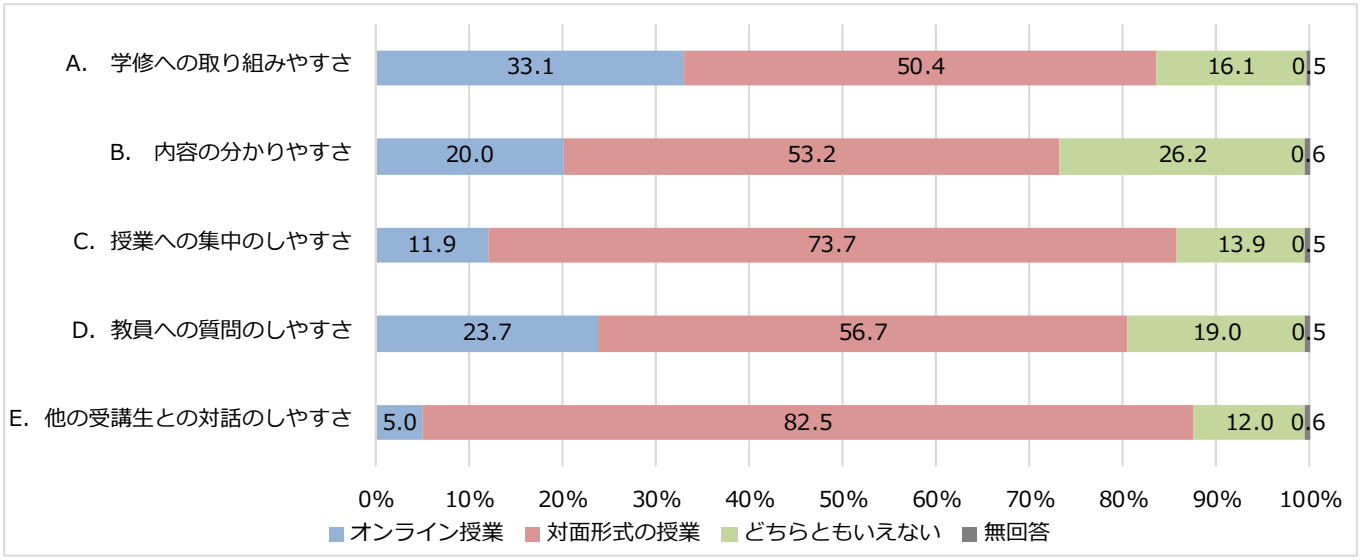
Ⅲ-6. 東京大学でのオンライン授業への取り組みに対して、あなたはどう感じていますか。あてはまるもの一つにチェックをつけてください。



Ⅲ-7. オンライン授業と対面形式の授業

全ての項目について「オンライン授業」より「対面形式の授業」の方が高い割合
「他の受講生との対話のしやすさ」については「オンライン授業」より「対面形式の授業」の方が 77.5%高い

Ⅲ-7. オンライン授業と対面形式の授業のどちらがよかったですか。あてはまるもの一つにチェックをつけてください。



Ⅳ．在学時の海外経験等

Ⅳ-1．海外経験

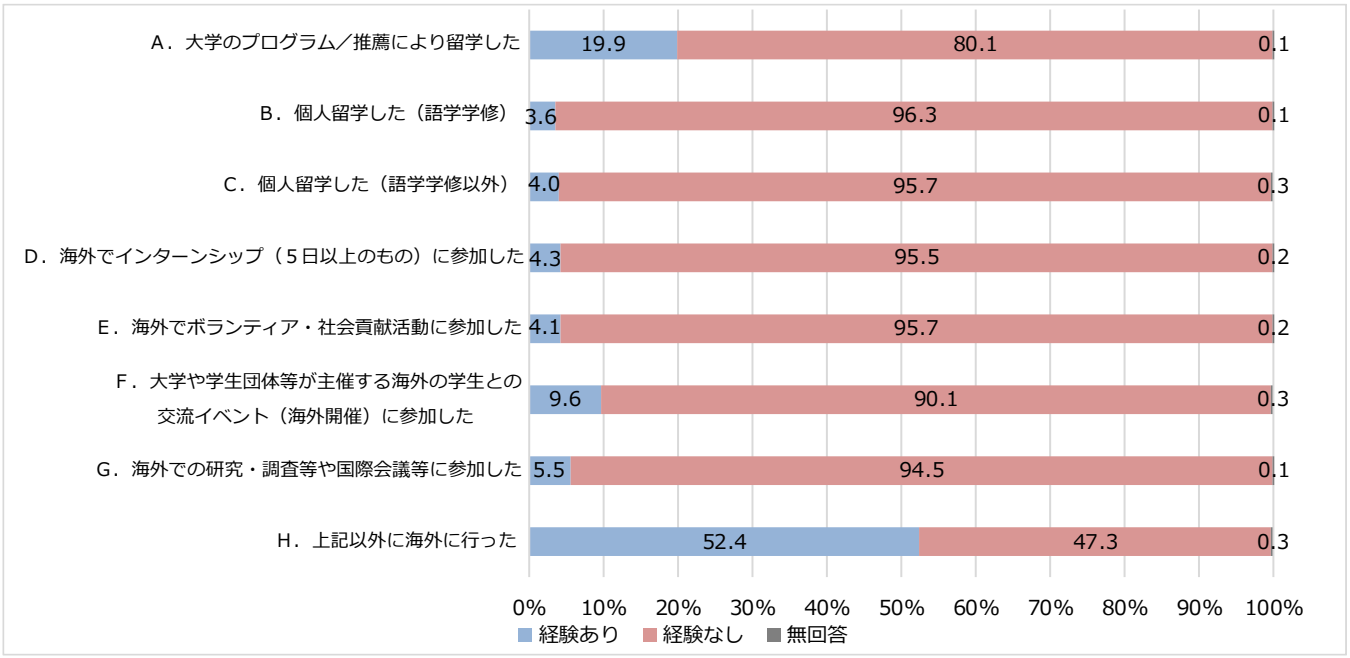
他の項目に比べ、「経験あり」の割合が高い

・「大学のプログラム／推薦により留学した」：19.9%

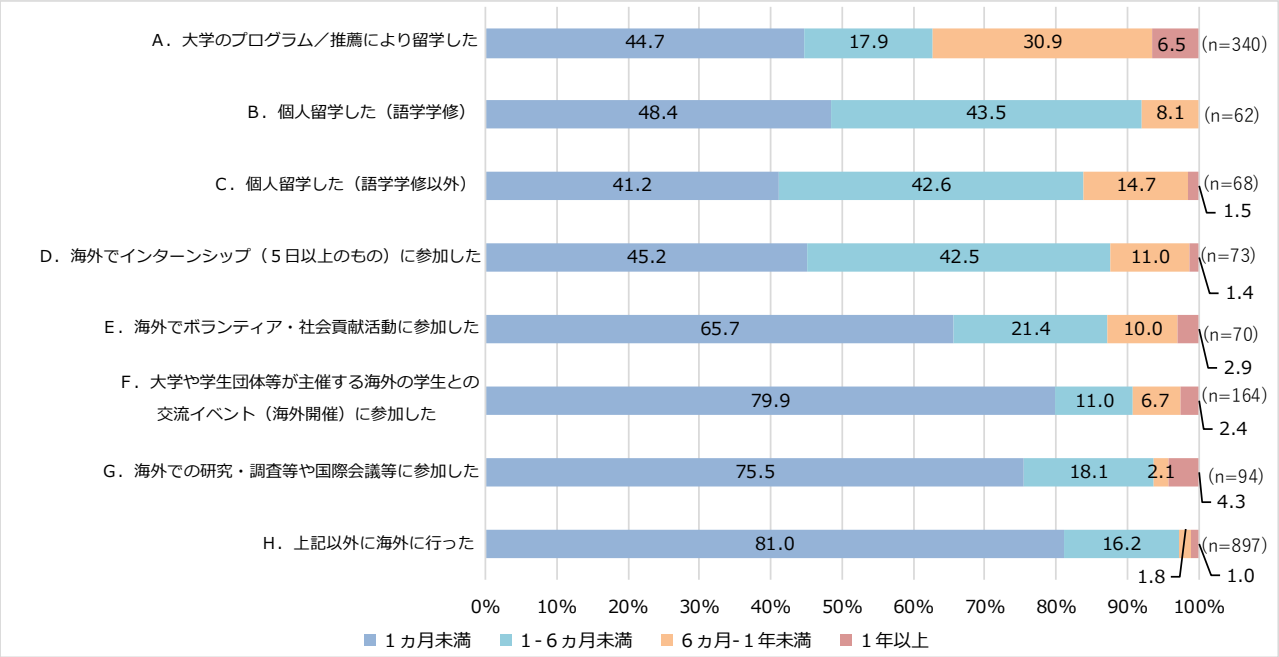
・「大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベント(海外開催)に参加した」：9.6%

Ⅳ-1. 在学時の海外経験等について、それぞれあてはまるもの一つにチェックをつけてください。

●海外経験の有無



●海外経験の期間



n は各項目について「経験あり」と回答した合計数

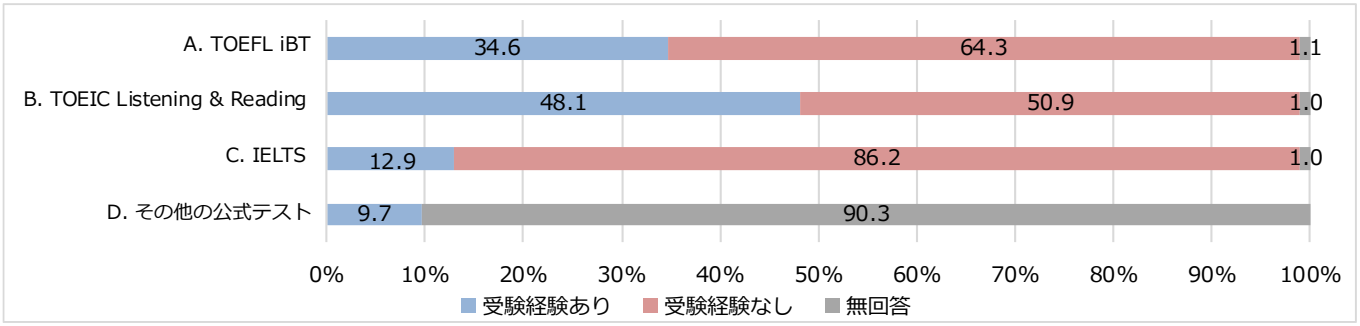
Ⅳ-2. 外国語テスト

他の項目に比べ、「受験経験あり」の割合が高い

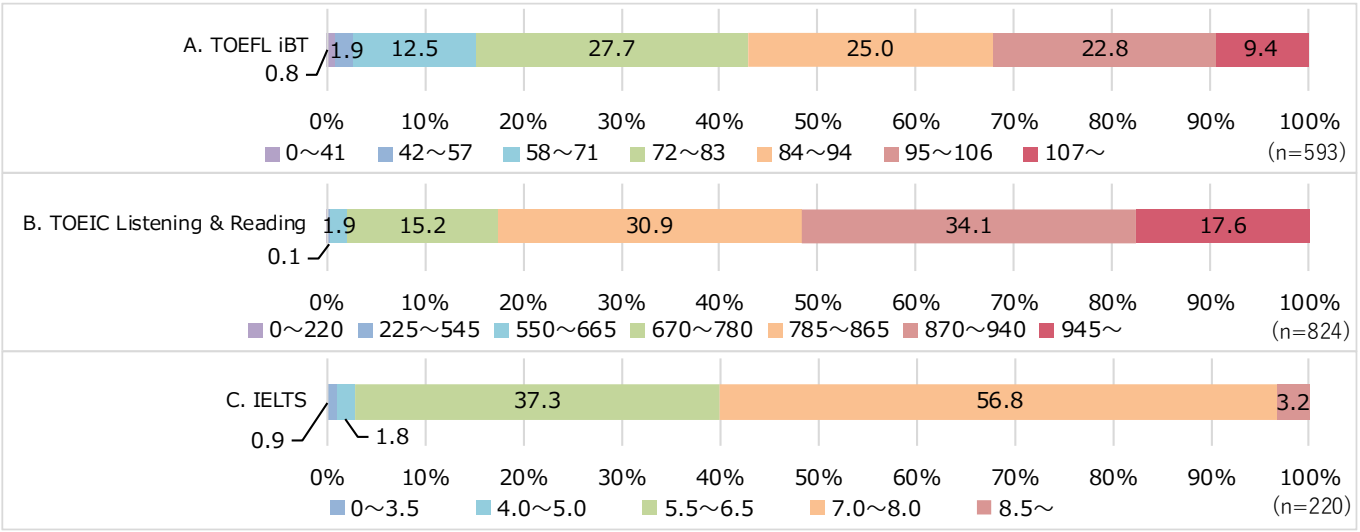
・「TOEIC Listening & Reading」：48.1%

Ⅳ-2. あなたは、在学中にTOEFL iBTやTOEIC、IELTS等の公式テストを受験したことがありますか。また、点数はどのくらいでしたか。

●受験経験の有無



●受験者の点数分布



n は各項目について「受験経験あり」と回答した合計数

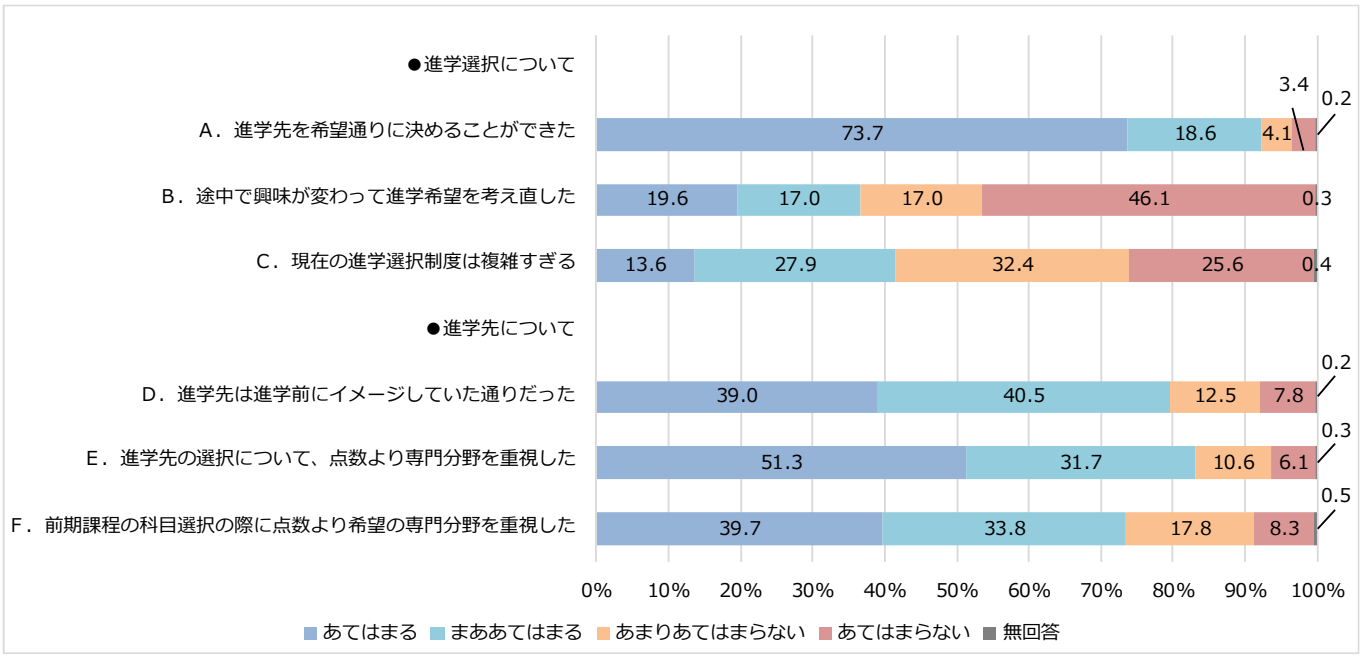
Ⅴ．前期と後期の接続

Ⅴ-1．進学選択･進学先

進学選択について、「あてはまる」「まああてはまる」の合計
・「進学先を希望通りに決めることができた」：92.3%
・ 他 2 項目は 50%以下

進学先について、「あてはまる」「まああてはまる」の合計
・ 3 項目すべてが 70%以上

Ⅴ-1．進学選択や進学先について伺います。



Ⅵ．大学生活を通じた満足度

Ⅵ-1．満足度

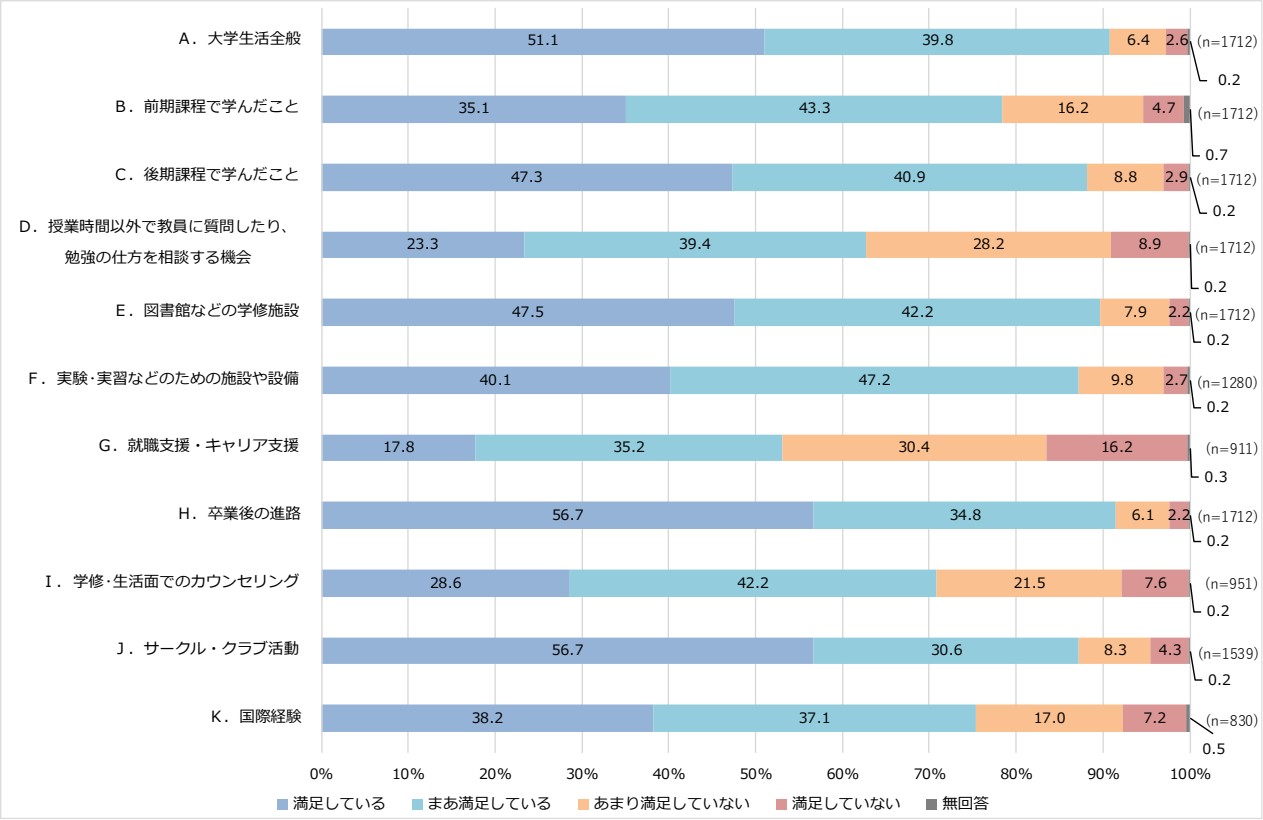
他の項目に比べ、「満足している」「まあ満足している」の合計が高い

- **「卒業後の進路」：91.5%**
- **「大学生活全般」：90.8%**
- **「図書館などの学修施設」：89.7%**

他の項目に比べ、「満足している」「まあ満足している」の合計が低い

- **「就職支援・キャリア支援」：53.0%**
- **「授業時間以外で教員に質問したり、勉強の仕方を相談する機会」：62.7%**
- **「学修・生活面でのカウンセリング」：70.8%**

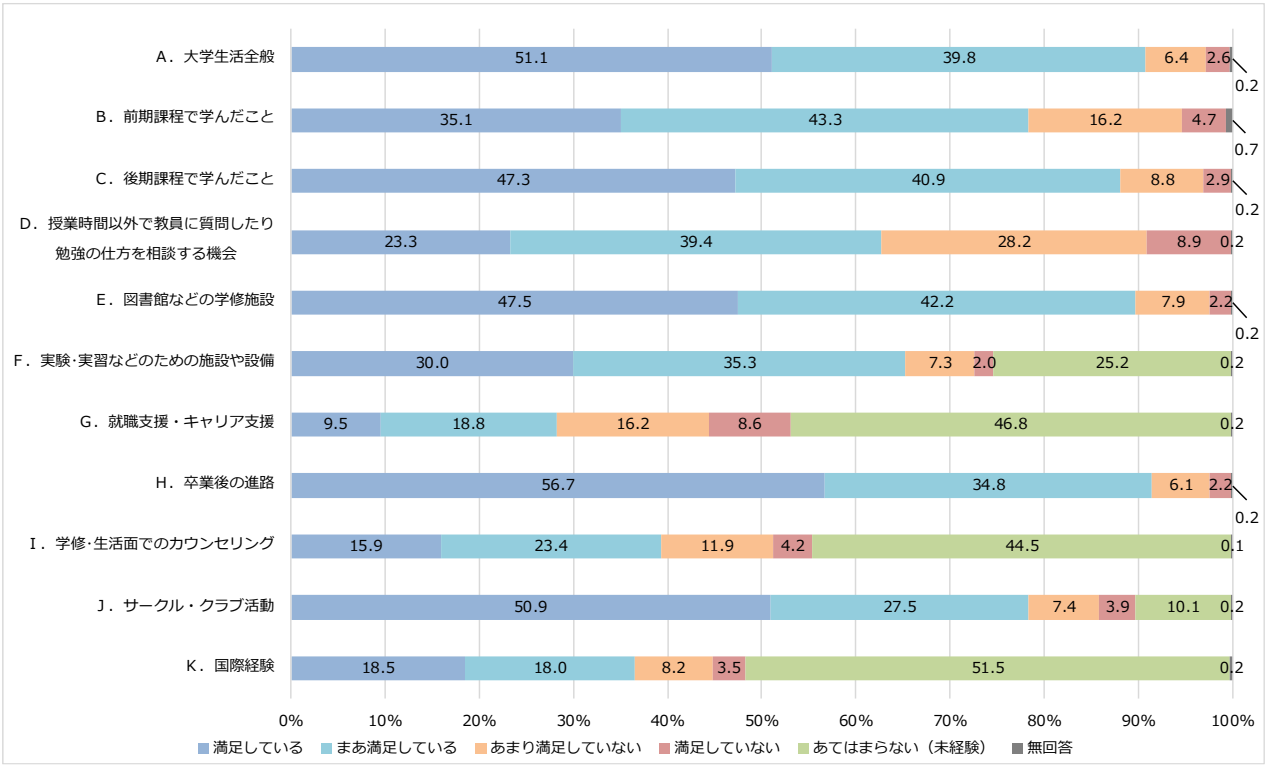
VI-1．あなたの大学生活を通じた満足度について伺います。



n は「あてはまらない(未経験)」と回答した学生を除いた回答者数

（参考）

「F．実験・実習などのための施設や設備」「G．就職支援・キャリア支援」「I．学修・生活面でのカウンセリング」「J．サークル・クラブ活動」「K．国際経験」の満足度において、「あてはまらない（未経験）」と回答した学生を除く前のグラフ

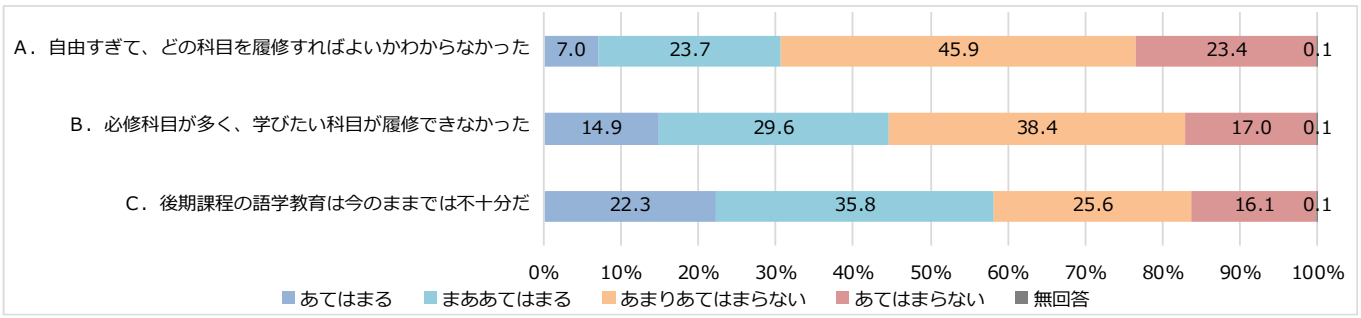


Ⅵ-2. 大学のカリキュラム

「あてはまる」「まああてはまる」の合計

- **「自由すぎて、どの科目を履修すればよいかわからなかった」：30.7%**
- **「必修科目が多く、学びたい科目が履修できなかった」：44.5%**
- **「後期課程の語学教育は今のままでは不十分だ」：58.1%**

VI-2. 大学のカリキュラムについて伺います。

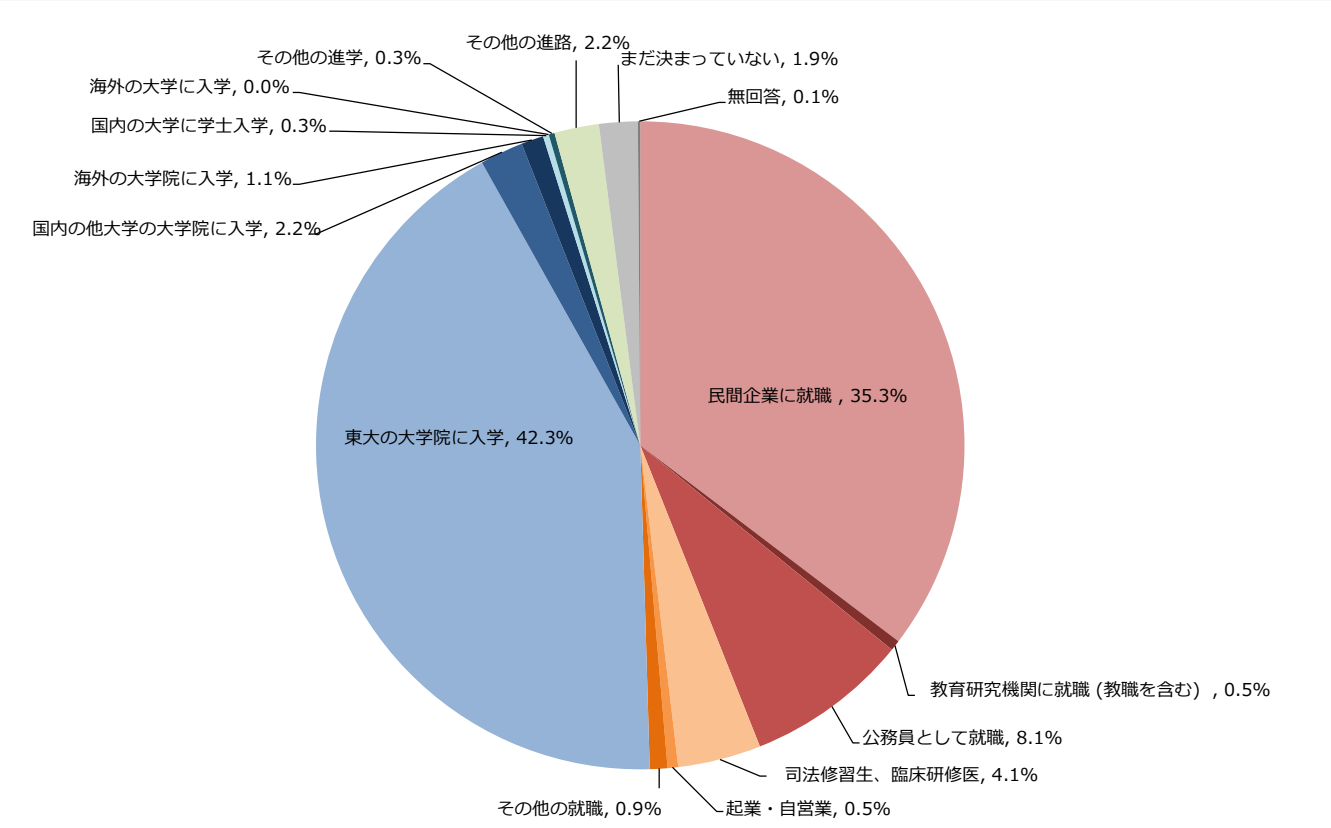


Ⅶ. 卒業後の進路

Ⅶ-1. 卒業後の予定

「就職」が 49.5%、「入学・進学」が 46.2%

Ⅶ-1. 卒業後の予定は、下の項目ではどれにあたりますか。



（参考）経年変化

2008年度（2009年3月実施）から18回目となる今回までの調査結果の中から、調査の目的や大学の方針との関連性、また近年の変化の傾向を踏まえていくつかの項目の経年データを示す。

経年変化をみるにあたっては、以下のことに留意が必要である。

・回答率の増減

調査票の回収方法や調査形式の変更もあり、回答率には毎年変動が見られる。

過去 8 年間の回答率については、本報告書の 2 ページを参照いただきたい。

・回答者の学部別割合の増減

回答率の増減に伴い、回答者の学部別割合にも毎年変動が見られる。

過去 8 年間の回答者の学部別割合については、本報告書の 3 ページを参照いただきたい。

・新型コロナウイルス感染症の影響

2020 年 2 月頃から新型コロナウイルス感染症の影響が見られ、2020 年度以降の調査回答にはその影響が反映されていると考えられる。（2020・2021 年度は多くの授業がオンラインで実施された。）

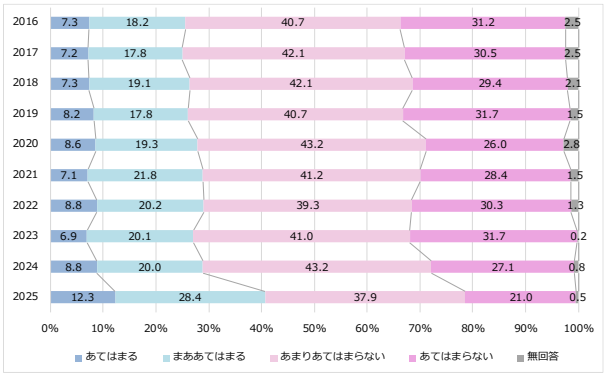
今回の調査に回答した学生は 7 割程度が 2022 年度入学であり、前回までと比べて影響は限定的と考えられる。

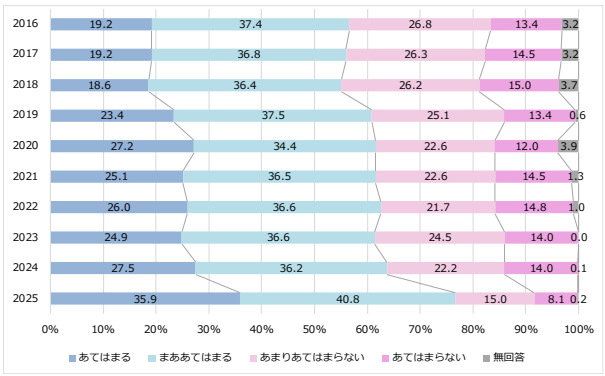
・データクリーニングの実施

2023 年度調査より、データクリーニング（明らかに不適切な回答をしていると思われる回答データの削除）を行っている。2025 年度はデータクリーニングの結果、全回答者 1,760 名のうち 97.3%にあたる 1,712 名の回答を有効回答としている。

Ⅱ-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

F．自分の専門に関連する本や学術雑誌、コンテンツをよく読んだ（左が前期課程、右が後期課程）



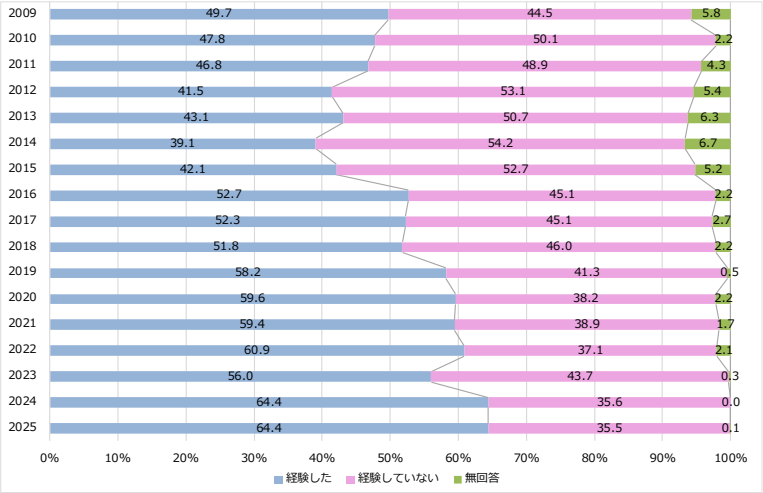


前期課程、後期課程ともに「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が前年度から大きく増加した。

設問の表現を前年度の「専門書や学術雑誌をよく読んだ」から変更したことが影響した可能性があるため、次年度以降の調査結果を注視する必要がある。

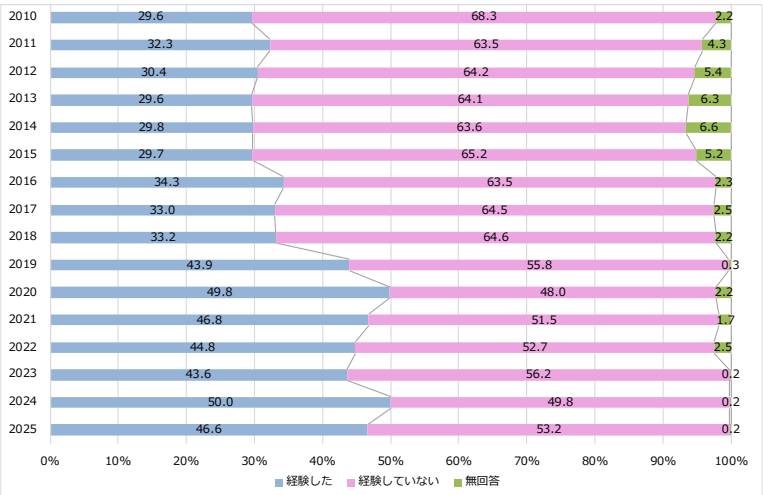
Ⅱ-4　在学時の学修機会・経験について伺います。

C．（学内で）自分とは異なる国の学生と交流した



「経験した」の割合が、2024 年度に調査開始以来最も高くなり、2025 年度も維持している。

D．東大で語学以外の英語による授業を受講した

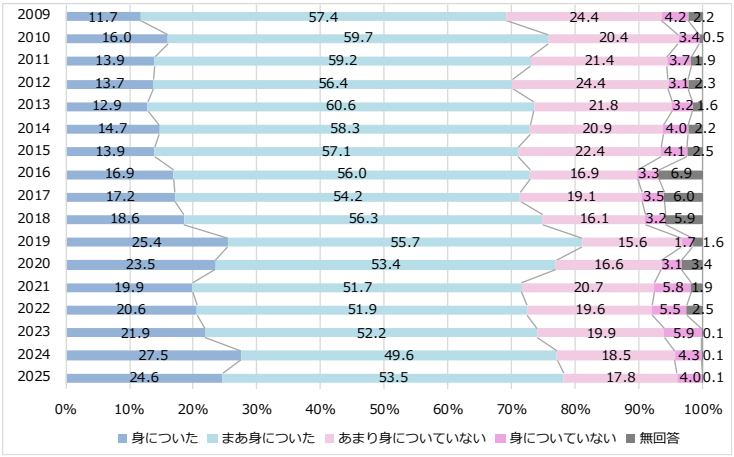


2019 年度以降、「経験した」の割合は 4 割から 5 割の間で推移している。

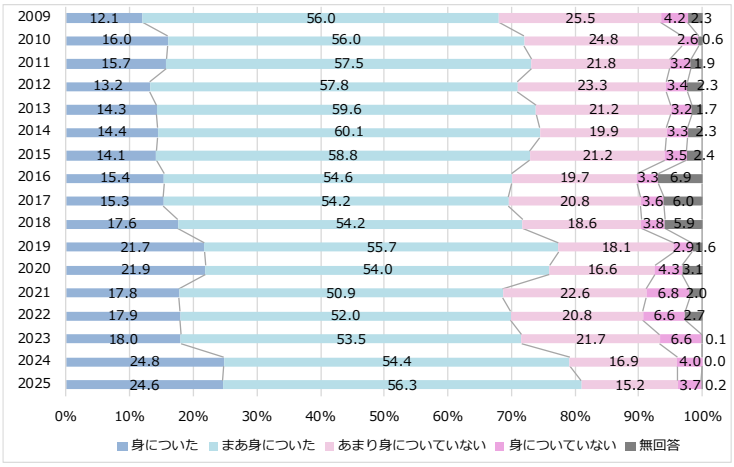
Ⅲ-1. あなたは、つぎのような点を身につけたと思いますか。

以下の 3 項目は、新型コロナウイルス感染症の影響を特に受けた 2021 年度～2023 年度調査において「身についた」と「まあ身についた」の合計が低い傾向にあったが、2024 年度調査より回復傾向が見られ、2025 年度調査でも概ね維持している。

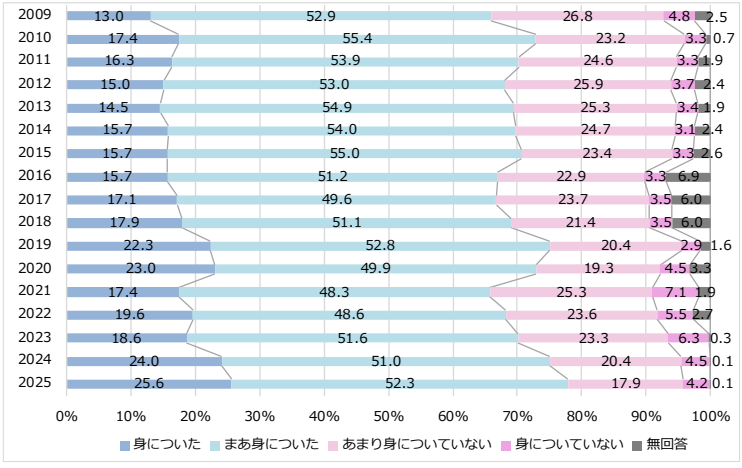
A. 学科・課程の専門領域について、最先端の研究を含めた知識・考え方



B. 専門の枠を超えた、所属する学部に共通するような基本的な知識・考え方

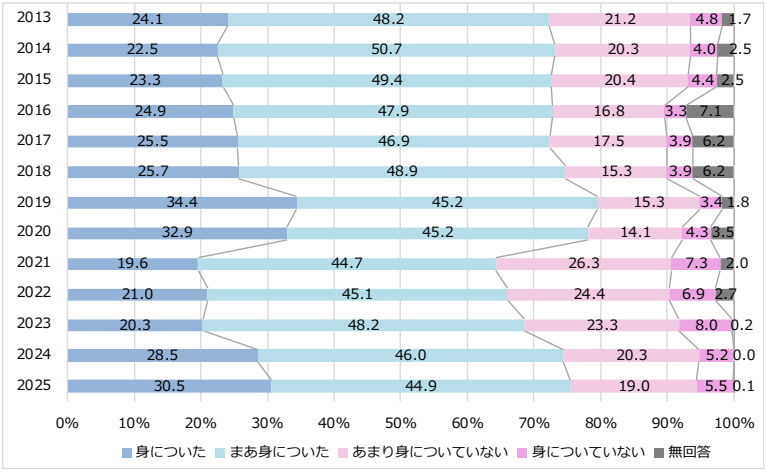


C. 専門領域を越えた、幅広い知識やものの見方

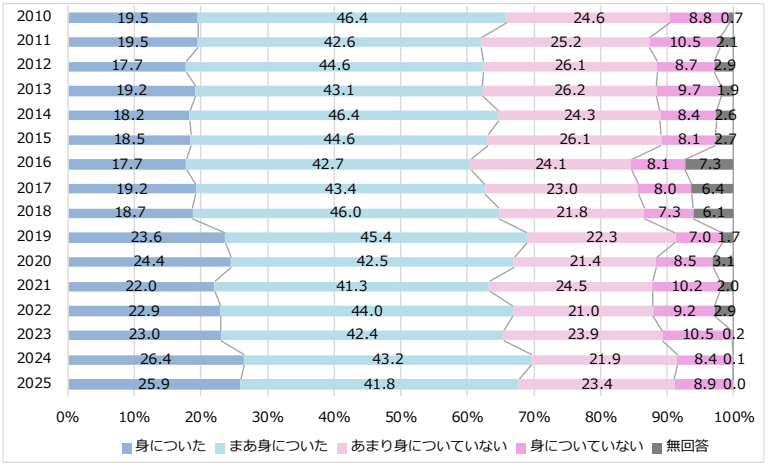


以下の 3 項目は、グローバル人材に特に求められる能力・資質の一部である。これらは「身についた」と「まあ身についた」の合計が 2021 年度調査で低下したが、その後徐々に回復し、2025 年度も概ね維持している。

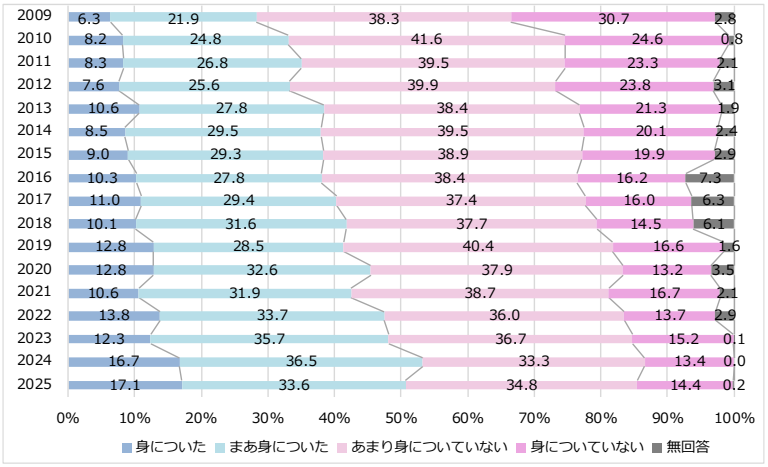
F. グローバルな思考や異なる文化・価値観の理解・尊重



L. 外国語の論文や本を読む能力



M. 外国語で文章を書いたり話したりする能力

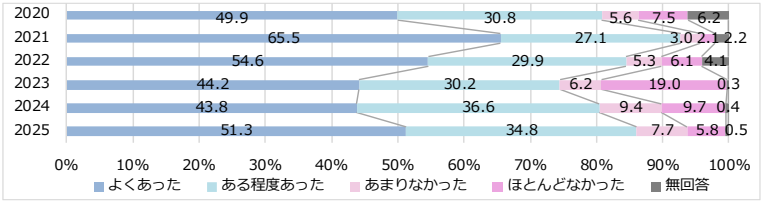


本項目は、設問の表現を前年度の「外国語を使う能力」から変更したことが影響した可能性があるため、次年度以降の調査結果を注視する必要がある。

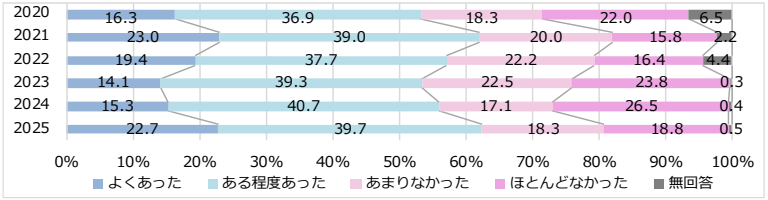
Ⅲ-5　あなたが今年度履修したオンライン授業の中で、次のような授業はおおよそどれくらいありましたか。

以下の3項目は、「よくあった」と「ある程度あった」の割合が2023年度より増加傾向にある。

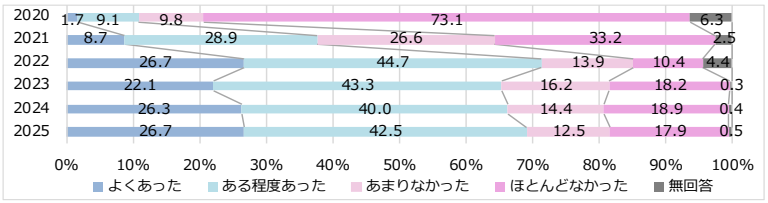
A. オンラインで教員が一方的に講義をする授業



D. オンラインで録画をいつでも見られる授業



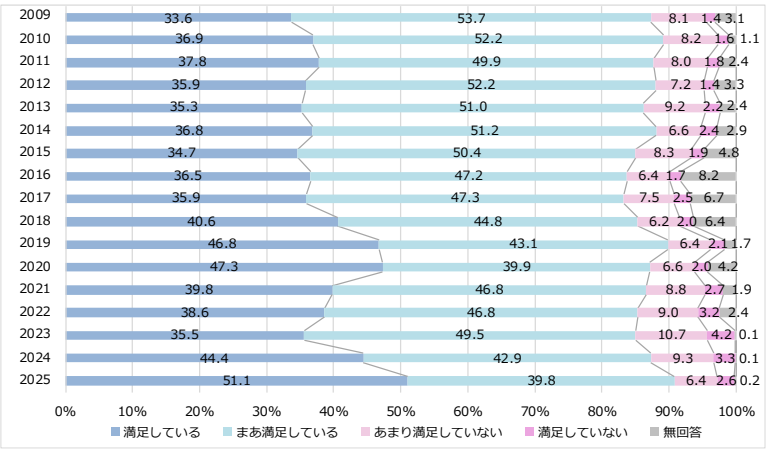
F.オンラインと対面を組み合わせた授業



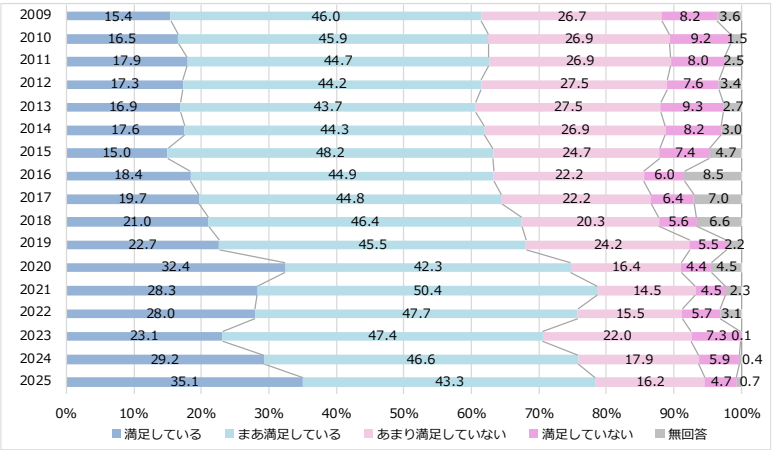
Ⅵ-1. あなたの大学生活を通じた満足度について伺います。

以下の 3 項目はⅢ-1 の A～C と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を特に受けた 2021 年度～2023 年度調査において「満足している」と「まあ満足している」の合計が低い傾向にあったが、2024 年度調査で大きく回復し、2025 年度調査でも引き続き回復傾向が続いている。

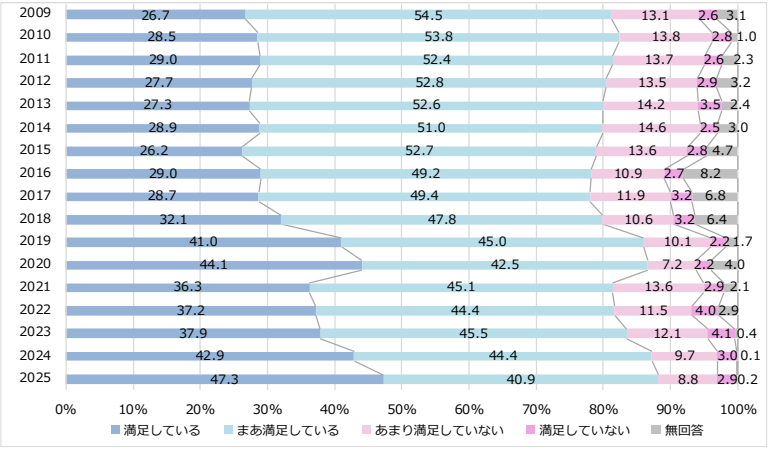
A. 大学生活全般



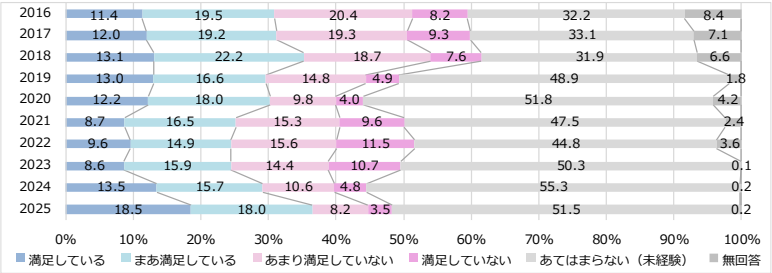
B. 前期課程で学んだこと



C. 後期課程で学んだこと



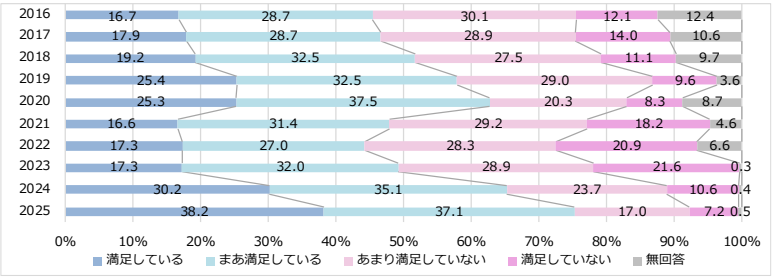
K．国際経験



本項目は、「あてはまらない（未経験)」の割合が前年度から 3.8%減少した。

（参考）

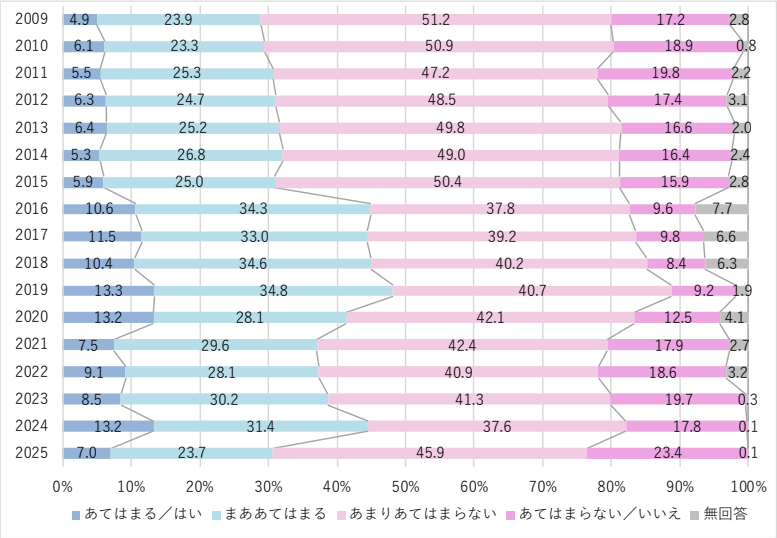
「あてはまらない（未経験)」と回答した学生を除いたグラフ



経験者においては「満足している」と「まあ満足している」の割合が前年度から 10%増加している。

VI-2. 大学のカリキュラムについて伺います。

A．自由すぎて、どの科目を履修すればよいかわからなかった



本項目は、「あてはまる」と「まああてはまる」の割合が前年度から 13.9%減少した。

設問の表現を前年度の「自由すぎて、なにをどう勉強すればよいかわからなかった」から変更したことが影響した可能性があるため、次年度以降の調査結果を注視する必要がある。

自由記述

自由記述は、内容を精査のうえ分類し、要約してまとめた。

Ⅲ-8. コロナ禍に関連してどのようなサポートを東京大学にしてほしかったですか。意見を自由にお書きください。

■授業方法
・対面授業を積極的に行ってほしかった。
・オンライン授業やハイブリッド授業をもっと増やしてほしかった。
・課題や学習の負荷について、全学で統一的な基準のもとにコントロールしてほしかった。
・コロナ罹患時の欠席の取り扱いを、授業ごとではなく全学で統一してほしかった。
・コロナ罹患時に気軽に授業内容のフォローアップができるように、オンデマンド授業や授業の録画動画、詳細な講義資料がより多くの授業で提供されるとよかった。
・コロナ罹患時に試験が受けられなくなる場合に備え、期末テストの一回ではなく、中間テストを複数回行うなど、評価の機会を増やすような授業が多くあるとよかった。
・コロナ罹患時に、学生がそれぞれの担当教員に連絡を取るのではなく、まとめて連絡ができるシステムが整備されているとよかった。
■学修環境
・オンライン授業での集中や理解を助ける学修ツールがあるとよかった。
・オンラインでも質問がしやすいように、オフィスアワーを各講義で設けてほしかった。
・オンライン授業の設定などをサポートする ICT 等に詳しいスタッフがいるとよかった。
・オンライン授業に必要な端末を購入するための金銭的な援助があり、その情報にアクセスしやすいとよかった。
・履修について気軽に相談できる職員がいるとよかった。
■交流の場
・学生同士の交流の場（対面、オンライン）を設けてほしかった。
・新入生同士の助け合いを促すような仕組みがあればよかった。
■情報提供
・進学選択について、もっと手厚いサポートがあるとよかった。
・進路情報について、もっと発信してほしかった。
・学生相談室の紹介を定期的に案内してほしかった。
■その他
・メンタルヘルスに関するサポートをより充実させてほしかった（メールの定期的な配信、大学のサポートをまとめたわかりやすいページの提供、カウンセラーと話せる時間の提供）。

Ⅷ-1. 東京大学の学修環境、カリキュラム、あなたの学修経験・大学生活等について、満足だった点、不満だった点を具体的にお書きください。

【満足だった点】

■カリキュラム・進学選択

・前期課程で幅広い分野について学ぶことができ、その中で自分の興味のある分野を見つけることができた。

・他学部・他学科の授業も含めて自由に履修計画を立てられ、自分に合った学び、学際的な学びができた。

■授業方法

・優れた教員による、内容が興味深くて知的好奇心を刺激される授業が多かった。

・少人数授業やゼミで議論する機会や実習・演習が充実していた。また、オンラインで柔軟に授業を受講できた。

■学修環境・学修サポート

・教員や職員による丁寧な指導や相談体制、図書館、実験設備、ICT 環境など、学修・研究環境が充実していた。

・自主ゼミなど主体的な学びの場が充実していた。

■国際経験・留学支援

・海外派遣プログラム、交換留学制度など多様な国際経験の機会、経済的支援が整備されていた。

・海外の学生との交流を通じて国際的な視野を広げられた。

■課外活動・その他

・体育施設など活動環境が整っていた。

・素晴らしい教員や仲間に出会い、人脈や友人関係を築くことができた。

・他学部・他学年の学生含めて優秀で意欲的な学生と出会い、多様な価値観に触れ、刺激を受けた。

【不満だった点】

■カリキュラム・進学選択

・履修制度や進学選択制度は複雑で分かりにくく、また、情報が不足しており不公平感があった。

・必修科目や課題が多かったり、点数を取りやすい授業を選ばざるをえなかったりと履修に制約が多いと感じた。

・転学科や進路変更がしにくいと感じた。

■授業方法

・一方向的な講義が多く、議論する機会、学生の主体的な学びの機会、思考力や議論力を養う機会が少なかった。

・教員によって授業内容や評価、オンライン授業の質にばらつきがあった。

・105 分授業は長すぎると感じた。

■学修環境・学修サポート

・学修スペースの不足や教室環境（空調・照明等）に不満があり、また、図書館が早く閉まり利用しづらかった。

・教員との距離が遠く相談しにくかった。

■国際経験・留学支援

・留学希望学生へのサポート（語学面など）が十分ではなく、国際プログラムへの参加のハードルが高かった。

・留学や海外経験に関する情報が不足していた。

■情報提供

・キャリア支援、奨学金などの経済支援、施設利用などに関する情報がわかりにくかった。

・学内の情報が整理されていなかったり、適切な時期に提供されなかったりして、必要な情報にたどり着くことが難しかった。

・出身高校による学生間の情報格差や、進級・卒業要件の通知の遅さに課題を感じた。

■課外活動・その他

・課外活動の場所の確保が難しかった。
・キャンパスや大学施設内に学外者の出入りが多く、マナーに反する行為が見られた。
・メンタルヘルスケアについて、個々の心身の状況に応じた柔軟な対応が欠けていた。
・大学の構成員の属性（出身校、性別、地域）が偏りすぎていて、地方出身の女性などのマイノリティは生活しにくかった。
・大学運営の改善が進んでいないと感じた。

Ⅷ-2. 東京大学の教育や学修環境の向上のために何が必要だと思いますか。意見を自由にお書きください。

■カリキュラム・授業方法
・多角的な視野を養うために副専攻を設けるなど、学際的な学びをしやすくする制度。
・英語教育の充実（習熟度別授業、スピーキングやリスニングに力を入れた授業、後期課程での英語授業の拡充）。
・前期課程と後期課程の接続をより円滑にする仕組み（前期課程の学生が後期課程の授業やゼミナールを一定程度履修・聴講できる制度や、各学部の学びの内容や負担を具体的に知る機会を拡充するなど）。
・レポートや論文の書き方・読み方についての教育の充実。
・授業時間の短縮。
・学生が主体的に学ぶ環境の拡充（双方向の授業、少人数授業の増加）。
・授業の評価の透明性を保つこと。レポートにコメントが付けられて返却されること。
・進学選択における成績偏重や不公平感の改善（継続的なフィードバックを伴う多面的な評価の導入、前期必修科目における授業の均質化など）。
■学修環境・サポート
・図書館の開館時間の延長。
・教室へのコンセントの設置拡充、老朽化した施設・設備や Wi-Fi 環境の改善。
・飲食可能で学生同士が交流・勉強できるスペース（教室の開放、ラウンジの設置）、落ち着いて学修できるスペース、オンライン授業や会議などができる防音ブースの拡充。
・進学選択への参加要件や前期課程の修了要件、後期課程の卒業要件の充足状況を確認できるシステムや窓口。
・留学の協定校の充実（地域の拡大）、応募期間の延長。
・学部間の垣根を低くし、異なる専門性を持つ学生同士がプロジェクトベースで協働できる場や機会の拡充、学際的な共同研究への助成の強化。
■情報提供
・シラバスの充実、さまざまな学修機会やプログラムについての周知徹底（特に入学時）。
■学生交流
・留学生との交流を促進するための公式の枠組みの提供（既存の言語交換プログラムの認知度向上など）。
・出身校やコミュニケーションの得手不得手によらず信頼関係を築くためのサポート。
・クラスや研究室で交流する機会や、学部や学年（または大学）を超えた交流会の提供。
■その他
・学生寮の増設。
・生成 AI との適切な向き合い方を教える授業やガイドライン、コンプライアンス研修の充実。
・進学先や研究内容、就活など将来の方向性を決めるための個別支援、知識提供の機会の増加。
・学生が悩みを相談できる場所の充実（ピアサポートルームなどの活動を全学的な基盤へと拡大することなど）。
・経済的に困窮する学生への経済的支援（奨学金、授業料免除など）の充実・多様化。
・学生の多様性の確保と、多様性に配慮した環境の改善、ダイバーシティ＆インクルージョン宣言の理念の実現。
・学生の意見を広く受け入れ、組織運営に反映させること（学生へのアンケートや、大学本部と学生が対話する機会の増加）。

大学教育の達成度調査（2008年度-2025年度）回答率

	2008年度			2009年度			2010年度			2011年度			2012年度		
	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率
法学部	408	152	37.3%	398	156	39.2%	398	32	8.0%	425	407	95.8%	407	395	97.1%
医学部	133	23	17.3%	129	19	14.7%	109	20	18.3%	121	18	14.9%	124	112	90.3%
工学部	895	93	10.4%	897	437	48.7%	943	681	72.2%	978	631	64.5%	950	630	66.3%
文学部	336	42	12.5%	291	263	90.4%	370	265	71.6%	352	272	77.3%	360	303	84.2%
理学部	305	225	73.8%	277	202	72.9%	293	228	77.8%	318	240	75.5%	282	239	84.8%
農学部	279	258	92.5%	272	247	90.8%	267	245	91.8%	279	257	92.1%	266	233	87.6%
経済学部	337	275	81.6%	354	330	93.2%	358	349	97.5%	333	304	91.3%	329	287	87.2%
教養学部	165	35	21.2%	141	25	17.7%	184	21	11.4%	154	144	93.5%	186	148	79.6%
教育学部	96	40	41.7%	102	29	28.4%	101	20	19.8%	110	105	95.5%	99	96	97.0%
薬学部	90	84	93.3%	78	73	93.6%	78	75	96.2%	91	90	98.9%	86	81	94.2%
合計	3,044	1,227	40.3%	2,939	1,781	60.6%	3,101	1,936	62.4%	3,161	2,468	78.1%	3,089	2,524	81.7%

	2013年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度		
	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率
法学部	409	387	94.6%	390	389	99.7%	376	365	97.1%	386	367	95.1%	396	382	96.5%
医学部	129	121	93.8%	126	113	89.7%	131	124	94.7%	136	121	89.0%	119	109	91.6%
工学部	966	669	69.3%	956	610	63.8%	940	639	68.0%	973	658	67.6%	981	760	77.5%
文学部	327	294	89.9%	372	318	85.5%	311	273	87.8%	338	279	82.5%	279	238	85.3%
理学部	280	203	72.5%	301	228	75.7%	292	206	70.5%	307	243	79.2%	301	221	73.4%
農学部	272	234	86.0%	272	241	88.6%	269	243	90.3%	254	219	86.2%	268	213	79.5%
経済学部	343	292	85.1%	357	284	79.6%	319	250	78.4%	345	201	58.3%	323	236	73.1%
教養学部	166	158	95.2%	175	156	89.1%	171	143	83.6%	169	137	81.1%	192	141	73.4%
教育学部	108	99	91.7%	90	75	83.3%	99	98	99.0%	90	80	88.9%	101	94	93.1%
薬学部	84	80	95.2%	82	80	97.6%	89	86	96.6%	82	65	79.3%	78	69	88.5%
合計	3,084	2,537	82.3%	3,121	2,494	79.9%	2,997	2,427	81.0%	3,080	2,370	76.9%	3,038	2,463	81.1%

	2018年度			2019年度			2020年度			2021年度			2022年度		
	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率
法学部	360	345	95.8%	358	42	11.7%	408	335	82.1%	384	314	81.8%	390	355	91.0%
医学部	132	119	90.2%	126	29	23.0%	146	6	4.1%	126	25	19.8%	150	119	79.3%
工学部	982	844	85.9%	966	641	66.4%	951	147	15.5%	981	378	38.5%	973	550	56.5%
文学部	317	283	89.3%	334	308	92.2%	345	70	20.3%	330	96	29.1%	307	124	40.4%
理学部	267	225	84.3%	293	83	28.3%	299	159	53.2%	298	167	56.0%	296	90	30.4%
農学部	278	236	84.9%	261	50	19.2%	235	86	36.6%	261	135	51.7%	246	144	58.5%
経済学部	314	302	96.2%	335	40	11.9%	323	34	10.5%	366	283	77.3%	324	251	77.5%
教養学部	187	117	62.6%	183	56	30.6%	180	57	31.7%	208	70	33.7%	177	146	82.5%
教育学部	99	98	99.0%	96	35	36.5%	107	46	43.0%	95	90	94.7%	100	98	98.0%
薬学部	81	63	77.8%	78	27	34.6%	89	13	14.6%	88	52	59.1%	85	49	57.6%
合計	3,017	2,632	87.2%	3,030	1,311	43.3%	3,083	953	30.9%	3,137	1,610	51.3%	3,048	1,926	63.2%

	2023年度			2024年度			2025年度		
	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率	卒業者数	回答者数	回答率
法学部	366	328	89.6%	371	356	96.0%	376	360	95.7%
医学部	139	122	87.8%	124	102	82.3%	136	100	73.5%
工学部	948	278	29.3%	982	313	31.9%	965	256	26.5%
文学部	288	110	38.2%	307	120	39.1%	297	118	39.7%
理学部	296	166	56.1%	316	163	51.6%	300	204	68.0%
農学部	239	118	49.4%	240	100	41.7%	247	117	47.4%
経済学部	328	316	96.3%	335	306	91.3%	353	348	98.6%
教養学部	173	142	82.1%	188	153	81.4%	185	152	82.2%
教育学部	102	96	94.1%	81	79	97.5%	89	84	94.4%
薬学部	86	54	62.8%	84	44	52.4%	80	21	26.3%
合計	2,965	1,730	58.3%	3,028	1,736	57.3%	3,028	1,760	58.1%

※各年度の卒業者数は３月卒業者のみ

問い合わせ：教育・学生支援部学務課教育改革推進チーム

【付属資料 調査票】

大学教育の達成度調査

【調査へのご協力のお願い】

この調査は東京大学の教育・研究環境の向上を目的として、卒業される学生の皆さんに、東京大学の教育や学修環境、学修経験や大学生活についてお聞きするものです。

本アンケートは、本学で分析し、その結果を本学の自己評価および教育改善に利用し、本学 web ページ（https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/edu-data/graduatesurvey.html）において公表します。答えにくい設問は、差し支えのない範囲で回答してください。回答の所要時間は 20 分程度です。皆さんの回答が大学の貴重な資料となりますので、是非ご協力をお願いします。

【個人情報の取扱い】

回答に際して UTokyo Account でサインインいただきましたが、こちらは本学の構成員として識別をするためであり、回答内容と紐づけることはありません。また、回答データは統計処理および匿名処理をした資料として活用し、特定の個人が識別できる情報として公表することはありません。回答データは回答者の個人情報およびプライバシー保護に留意し、厳重に保管します。

なお、本アンケートの実施・集計等に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた者（以下「受託者」という。）において行うことがあります。ついては、受託者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、アンケートの回答の全部または一部を提供します。その際には、個人情報の保護に関する法令および本学関連規則（東京大学の個人情報等に関する取扱規則 https://www.u-tokyo.ac.jp/gen01/reiki_int/reiki_honbun/au07408321.html）等に基づいて必要な処置を行います。

東京大学　教育運営委員会
学部・大学院教育部会　達成度調査 WG
2026 年 2 月

【回答期間】2026 年 2 月 2 日（月）9:00 ～ 3 月 31 日（火）17:00

Ⅰ. あなた自身について伺います。 それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

Ⅰ-1　あなたは学部学生で、2026 年 3 月に卒業予定ですか。

- ○ 1. はい
- ○ 2. いいえ→この調査の対象ではありません。回答は不要です。

Ⅰ-2　入学試験についてお答えください。

- ○ 1. 一般選抜（旧一般入試）
- ○ 2. 学校推薦型選抜（旧推薦入試）
- ○ 3. 特別選考（第1種：私費留学生）
- ○ 4. 特別選考（第2種：帰国生徒）
- ○ 5. 特別選考（PEAK：学部英語コース）
- ○ 6. 特別選考（国費留学生等）
- ○ 7. 編入学・再入学・学士入学

Ⅰ-3　前期課程 入学年度をお答えください。

- ○ 1. 2022 以降
- ○ 2. 2021
- ○ 3. 2020
- ○ 4. 2019
- ○ 5. 2018
- ○ 6. 2017 以前

Ⅰ-4　前期課程 科類をお答えください。

- ○ 1. 文一
- ○ 2. 文二
- ○ 3. 文三
- ○ 4. 理一
- ○ 5. 理二
- ○ 6. 理三

Ⅰ-5　後期課程 入･進学年度をお答えください。

- ○ 1. 2024 以降
- ○ 2. 2023
- ○ 3. 2022
- ○ 4. 2021
- ○ 5. 2020
- ○ 6. 2019 以前

Ⅰ-6　後期課程 所属学部等をお答えください。

- ○ 1. 法学部
- ○ 2. 医学部(医学)
- ○ 3. 医学部(健康総合)
- ○ 4. 工学部
- ○ 5. 文学部
- ○ 6. 理学部
- ○ 7. 農学部(生命･環境)
- ○ 8. 農学部(獣医)
- ○ 9. 経済学部
- ○ 10. 教養学部(文系)
- ○ 11. 教養学部(理系)
- ○ 12. 教育学部
- ○ 13. 薬学部(薬科学)
- ○ 14. 薬学部(薬学)

Ⅰ-7　所属学科・コース等をお答えください。

Ⅰ-8　性別をお答えください。

- ○ 1. 男
- ○ 2. 女
- ○ 3. その他
- ○ 4. 回答しない

Ⅰ-9　通学・住居をお答えください。

○ 1. 自宅･実家通学
○ 2. 自宅外通学（マンション、アパート、下宿等）
○ 3. 東大学生宿舎
○ 4. その他学生寮
○ 5. その他

Ⅰ-10　出身高校等の種別をお答えください。

○ 1. 国立（大学附属）
○ 2. 中高一貫型の公立学校
○ 3. その他の公立学校
○ 4. 中高一貫型の私立学校
○ 5. その他の私立学校
○ 6. 外国の学校
○ 7. 高等学校卒業程度認定試験(廃止前の大学入学資格認定)
○ その他:

Ⅰ-11　後期課程 学籍番号（8 桁）をお答えください。

※学籍番号の記入は任意ですが、東京大学の教育・研究環境の向上に役立てるため他のデータとともに分析することがあります。あなたの回答が他に知られることがないよう、学籍番号は暗号化して分析しますのでご協力ください。

Ⅱ．在学時の経験について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

Ⅱ-1　入学時の様子について伺います。つぎのことは、どの程度あてはまりますか。

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
A.大学に入ってからやりたいことが明確に決まっていた	○	○	○	○
B.入学前から、受験勉強の範囲を超えて、アカデミックな知識や思想について勉強していた	○	○	○	○

Ⅱ-2　大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
A.(前期)自主勉強会など自分の興味ある学修をする機会を得られた	○	○	○	○
A.(後期)自主勉強会など自分の興味ある学修をする機会を得られた	○	○	○	○
B.(前期)一つのことに没頭して取り組んだことがある	○	○	○	○
B.(後期)一つのことに没頭して取り組んだことがある	○	○	○	○

C.（前期）優れた友人に感化された	○	○	○	○
C.（後期）優れた友人に感化された	○	○	○	○
D.（前期）研究室やサークルなどの OB、OG と知り合いになれた	○	○	○	○
D.（後期）研究室やサークルなどの OB、OG と知り合いになれた	○	○	○	○
E.（前期）自分の専門以外の本やコンテンツをよく読んだ	○	○	○	○
E.（後期）自分の専門以外の本やコンテンツをよく読んだ	○	○	○	○
F.（前期）自分の専門に関連する本や学術雑誌、コンテンツをよく読んだ	○	○	○	○
F.（後期）自分の専門に関連する本や学術雑誌、コンテンツをよく読んだ	○	○	○	○
G.（後期）後期課程では授業についていくのに苦労した	○	○	○	○
H.（後期）就職活動に時間を割きすぎた	○	○	○	○

Ⅱ-3　大学が提供するプログラム等の履修または参加について伺います。それぞれについて、「履修または参加した（「非常に有用だった」、「有用だった」、「あまり有用ではなかった」、「有用ではなかった」）」、「知っているが履修または参加したことはない」、「知らない」に分けて、あてはまる番号にチェックをつけてください。

	1. 履修または参加した（非常に有用だった）	2. 履修または参加した（有用だった）	3. 履修または参加した（あまり有用ではなかった）	4. 履修または参加した（有用ではなかった）	5. 知っているが履修または参加したことはない	6. 知らない
A.学部横断型教育プログラム	○	○	○	○	○	○
B.(前期)FLYプログラム	○	○	○	○	○	○
C.国際研修	○	○	○	○	○	○
D.(前期)トライリンガル・プログラム(TLP)(2025 年 4 月～ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｰﾀﾞｰ育成ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ-Ⅱ(GLP-Ⅱ))	○	○	○	○	○	○
E.ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｰﾀﾞｰ育成ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ-Ⅰ(GLP-Ⅰ)	○	○	○	○	○	○
F.ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ教育ｾﾝﾀｰ短期ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	○	○	○	○	○	○
G.USTEP（全学交換留学）	○	○	○	○	○	○
H.国際総合力認定制度(Go Global Gateway)	○	○	○	○	○	○
I.スペシャル・イングリッシュ・レッスン	○	○	○	○	○	○
J.体験型教育プログラム	○	○	○	○	○	○
K.後期教養教育科目	○	○	○	○	○	○

L.グローバル教養科目	○	○	○	○	○	○

Ⅱ-4　在学時の学修機会・経験について伺います。

	1. はい（非常に有用だった）	2. はい（有用だった）	3. はい（あまり有用ではなかった）	4. はい（有用ではなかった）	5. いいえ（経験していない）	6.卒業論文/研究はなかった
A.卒業論文/研究を行った	○	○	○	○	○	○

	1. はい（非常に有用だった）	2. はい（有用だった）	3. はい（あまり有用ではなかった）	4. はい（有用ではなかった）	5. いいえ（経験していない）	6.研究室やゼミでの少人数教育はなかった
B.研究室やゼミでの少人数教育を経験した	○	○	○	○	○	○

	1. はい（非常に有用だった）	2. はい（有用だった）	3. はい（あまり有用ではなかった）	4. はい（有用ではなかった）	5. いいえ（経験していない）
C.（学内で）自分とは異なる国の学生と交流した	○	○	○	○	○
D.東大で語学以外の英語による授業を受講した	○	○	○	○	○
E.インターンシップ・プログラム(5 日以上に限る)に参加した	○	○	○	○	○
F.ボランティア・社会貢献活動に参加した	○	○	○	○	○
G.図書館やアクティブラーニングスペースなど大学施設を活用して学修した	○	○	○	○	○

Ⅲ. 在学時の学修について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

Ⅲ-1　あなたは、つぎのような点を身につけたと思いますか。

	1. 身についた	2. まあ身についた	3. あまり身についていない	4. 身についていない
A.学科・課程の専門領域について、最先端の研究を含めた知識・考え方	○	○	○	○
B.専門の枠を超えた、所属する学部に共通するような基本的な知識・考え方	○	○	○	○
C.専門領域を越えた、幅広い知識やものの見方	○	○	○	○
D.課題を発見し解決方法を考える能力	○	○	○	○
E.公共的な責任感や倫理観	○	○	○	○
F.グローバルな思考や異なる文化・価値観の理解・尊重	○	○	○	○
G.今まで経験しなかったことに挑戦する意欲	○	○	○	○
H.将来の方向性	○	○	○	○
I.社会に出てすぐに役に立つような知識やスキル	○	○	○	○
J.論理的な文章をまとめる能力	○	○	○	○

K.人間関係をうまく保ち協働する能力	○	○	○	○
L.外国語の論文や本を読む能力	○	○	○	○
M.外国語で文章を書いたり話したりする能力	○	○	○	○
N.統計数理の知識・技能	○	○	○	○
O.ICT に関するスキルやリテラシー	○	○	○	○

Ⅲ-2　教員との関係や受講した授業について伺います。

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
A.所属学科・コースの教員の指導は十分だった	○	○	○	○
B.優れた教員に影響を受けた	○	○	○	○
C.授業の意義や到達目標を十分に説明してくれた	○	○	○	○
D.理解しやすいように教え方が工夫されていた	○	○	○	○

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない	5. TA のいる授業を受講していない
E.TA(ティーチング・アシスタント)が役に立った	○	○	○	○	○

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
F.小テストやレポートなどの課題が出された ※期末テストは除く	○	○	○	○

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない	5. 提出物の返却はなかった
G.課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された	○	○	○	○	○

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
H.グループワークやディスカッションの機会があった	○	○	○	○
I.教員から意見を求められたり、質疑応答の機会があった	○	○	○	○

Ⅲ-3　あなたの成績について伺います。「優上」(A+)および「優」(A)は何割くらいありましたか。
あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

○ 1.　0 割
○ 2.　1 割程度
○ 3.　2 割程度
○ 4.　3 割程度
○ 5.　4 割程度
○ 6.　5 割程度
○ 7.　6 割程度
○ 8.　7 割程度
○ 9.　8 割程度
○ 10.　9 割程度
○ 11.　10 割

Ⅲ-4　あなたが今年度履修した科目にオンライン授業はありましたか。

○　1. はい
○　2. いいえ

Ⅲ-5　あなたが今年度履修したオンライン授業の中で、次のような授業はおおよそどれくらいありましたか。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

	1. よくあった	2. ある程度あった	3. あまりなかった	4. ほとんどなかった
A.オンラインで教員が一方的に講義をする授業	○	○	○	○
B.オンラインで教員と学生の間に対話がある授業	○	○	○	○
C.オンラインで学生同士のディスカッションがある授業	○	○	○	○
D.オンラインで録画をいつでも見られる授業	○	○	○	○
E.オンラインで講義がなく課題だけが出される授業	○	○	○	○
F.オンラインと対面を組み合わせた授業	○	○	○	○

Ⅲ-6　東京大学でのオンライン授業への取り組みに対して、あなたはどう感じていますか。あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

○　1. とても満足
○　2. やや満足
○　3. どちらともいえない
○　4. やや不満
○　5. とても不満

Ⅲ-7　オンライン授業と対面形式の授業のどちらがよかったですか。
あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

	1. オンライン授業	2. 対面形式の授業	3. どちらともいえない
A. 学修への取り組みやすさ	○	○	○
B. 内容の分かりやすさ	○	○	○
C.授業への集中のしやすさ	○	○	○
D.教員への質問のしやすさ	○	○	○
E.他の受講生との対話のしやすさ	○	○	○

Ⅲ-8　コロナ禍に関連してどのようなサポートを東京大学にしてほしかったですか。
意見を自由にお書きください。



Ⅳ. 在学時の海外経験等について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

Ⅳ-1　在学時の海外経験等について、それぞれあてはまるもの一つにチェックをつけてください。

	1. 経験あり：1ヵ月未満	2. 経験あり：1-6ヵ月未満	3. 経験あり：6ヵ月-1年未満	4. 経験あり：1年以上	5. 経験なし
A.大学のプログラム／推薦により留学した	○	○	○	○	○
B.個人留学した（語学学修）	○	○	○	○	○
C.個人留学した（語学学修以外）	○	○	○	○	○
D.海外でインターンシップ(5日以上のもの)に参加した	○	○	○	○	○
E.海外でボランティア・社会貢献活動に参加した	○	○	○	○	○
F.大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベント（海外開催）に参加した	○	○	○	○	○
G.海外での研究・調査等や国際会議等に参加した	○	○	○	○	○
H.上記以外に海外に行った	○	○	○	○	○

Ⅳ-2　あなたは、在学中に TOEFL iBT や TOEIC、IELTS 等の公式テストを受験したことがありますか。また、点数はどのくらいでしたか。

A.TOEFL iBT

○ 1.受験経験なし
○ 2.受験経験あり 0～41 点
○ 3.受験経験あり 42～57 点
○ 4.受験経験あり 58～71 点
○ 5.受験経験あり 72～83 点
○ 6.受験経験あり 84～94 点
○ 7.受験経験あり 95～106 点
○ 8.受験経験あり 107 点～

B.TOEIC Listening & Reading

○ 1.受験経験なし
○ 2.受験経験あり 0～220 点
○ 3.受験経験あり 225～545 点
○ 4.受験経験あり 550～665 点
○ 5.受験経験あり 670～780 点
○ 6.受験経験あり 785～865 点
○ 7.受験経験あり 870～940 点
○ 8.受験経験あり 945 点～

C.IELTS

○ 1.受験経験なし
○ 2.受験経験あり 0～3.5 点
○ 3.受験経験あり 4.0～5.0 点
○ 4.受験経験あり 5.5～6.5 点
○ 5.受験経験あり 7.0～8.0 点
○ 6.受験経験あり 8.5 点～

D.その他の公式テスト(外国語)
受験経験がある方は、テストの名称とスコア等を入力してください。
(例:○○テスト 100 点満点中 80 点、○○検定 1 級合格)

Ⅴ．前期と後期の接続について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

Ⅴ-1　進学選択や進学先について伺います。

進学選択について
（2014 年度以前入学者は「進学選択」を「進学振分け」と読み替えて回答してください。）

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
A.進学先を希望通りに決めることができた	○	○	○	○
B.途中で興味が変わって進学希望を考え直した	○	○	○	○
C.現在の進学選択制度は複雑すぎる	○	○	○	○

進学先について

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
D.進学先は進学前にイメージしていた通りだった	○	○	○	○
E.進学先の選択について、点数より専門分野を重視した	○	○	○	○
F.前期課程の科目選択の際に点数より希望の専門分野を重視した	○	○	○	○

Ⅵ. 大学生活を通じた満足度について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

Ⅵ-1　あなたの大学生活を通じた満足度について伺います。

	1. 満足している	2. まあ満足している	3. あまり満足していない	4. 満足していない
A.大学生活全般	○	○	○	○
B.前期課程で学んだこと	○	○	○	○
C.後期課程で学んだこと	○	○	○	○
D.授業時間以外で教員に質問したり、勉強の仕方を相談する機会	○	○	○	○
E.図書館などの学修施設	○	○	○	○

	1. 満足している	2. まあ満足している	3. あまり満足していない	4. 満足していない	5. あてはまらない（未経験）
F.実験･実習などのための施設や設備	○	○	○	○	○
G.就職支援･キャリア支援	○	○	○	○	○

	1. 満足している	2. まあ満足している	3. あまり満足していない	4. 満足していない
H.卒業後の進路	○	○	○	○

	1. 満足している	2. まあ満足している	3. あまり満足していない	4. 満足していない	5. あてはまらない（未経験）
I. 学修･生活面でのカウンセリング	○	○	○	○	○
J. サークル･クラブ活動	○	○	○	○	○
K.国際経験	○	○	○	○	○

Ⅵ-2　大学のカリキュラムについて伺います。

	1. あてはまる	2. まああてはまる	3. あまりあてはまらない	4. あてはまらない
A.自由すぎて、どの科目を履修すればよいかわからなかった	○	○	○	○
B.必修科目が多く、学びたい科目が履修できなかった	○	○	○	○
C.後期課程の語学教育は今のままでは不十分だ	○	○	○	○

Ⅶ. 卒業後の進路について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つにチェックをつけてください。

Ⅶ-1　卒業後の予定は、下の項目ではどれにあたりますか。

○ 1.【働く】民間企業に就職
○ 2.【働く】教育研究機関に就職（教職を含む）
○ 3.【働く】公務員として就職
○ 4.【働く】司法修習生、臨床研修医
○ 5.【働く】起業・自営業
○ 6.【働く】その他の就職
○ 7.【学ぶ】東大の大学院に入学
○ 8.【学ぶ】国内の他大学の大学院に入学
○ 9.【学ぶ】海外の大学院に入学
○ 10.【学ぶ】国内の大学に学士入学
○ 11.【学ぶ】海外の大学に入学
○ 12.【学ぶ】その他の進学
○ 13.【その他】その他の進路
○ 14.【未定】まだ決まっていない

Ⅷ. 自由記述

Ⅷ-1　東京大学の学修環境、カリキュラム、あなたの学修経験・大学生活等について、満足だった点、不満だった点を具体的にお書きください。



Ⅷ-2　東京大学の教育や学修環境の向上のために何が必要だと思いますか。意見を自由にお書きください。

